

● 《海上防災》バックナンバー ●

前1号～前5号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
前1	1978年7月	1	1	1	0	創刊号に寄せて —海上防災事業者協会の発足を祝して—	海上災害防止センター 理事長 森 巖 夫	1
		2	1	9		海上防災事業者協会創立総会	協 会 事 務 局	12
		3	5	2	1	バージ船DM7001号排出油事故の概要	海上災害防止センター	4
		4	1	1	0	座談会(協会の創立と将来)		6
前2	1978年9月	5	1	4	5	海上災害防止センターの1号業務及び2号 業務のしくみについて	前 海上災害対策室 専門官 磯 田 壮一郎	5
		6	5	2	1	東北石油排出油事故の概要	海上災害防止センター 防災部長 江 本 文 則	4
		7	5	3		座談会(東北石油排出油事故の教訓)		13
		8	5	9		処理作業を終えて(東北石油流出油事故より)	宮城マリンサービス(株) 山下 敏夫 太田 喜一郎	3
前3	1978年11月	9	1	3	1	油回収船等の配備について	海上災害対策室 専門官 中 畑 善 男	6
		10	4	3		油回収船・油回収装置について	海上災害防止センター 防災部・機材部	4
		11	3	2		1・2号業務の具体的な作業要領等について	海上災害防止センター 防 災 部	9
		12	1	3	1	油処理剤の規格について	海上保安試験研究センター 福 田 皓	3
		13	4	2	2	油処理剤の使用について	排出油防除調査研究会	6
前4	1979年1月	14	1	9		座談会(流出油防除を語る)	—	9
		15	4	3		油回収船等の現状	日本船舶標準協会 専務理事 吉 田 一 信	6
		16	4	3		センターが配備する油回収船等の機種について	海上災害防止センター 機 材 部	12
前5	1979年3月	17	1	4	3	油濁損害にともなう船主責任と補償	日本船主責任相互保険 組合 常務理事 藤 井 麟 太 郎	7
		18	1	1	0	座談会(海上防災の第一線を語る) —防災訓練所受講者座談会—	—	9
		19	5	2	1	隆洋丸排出油事故の処理	海上災害防止センター 防 災 部	12

第 1 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
1	1979年5月	20	2	4	2	流出油の性状と回収	東 亜 燃 料 工 業 (株) 環境安全室 松 本 謙	6
		21	4	2	2	オイルフェンスの性能と取扱	住友電気工業(株) ゴムプラスチック事業部 安藤 泰見(参与) 五十嵐 賢治(技師)	7
		22	2	2	5	研究報告(オイルフェンスの使用法) ードレッシング方式ー	海上災害防止センター	6
		23	5	2	1	廃油バーージ昇白排出油事故	海上災害防止センター 防 災 部	4
		24	5	2	1	第8宮丸排出油事故	海上災害防止センター 防 災 部	5

第 2 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
2	1979年7月	25	3	2		流出油事故とサーベイ	日本海事検定協会 八 重 尾 恒 男	4
		26	1	4	3	国際油濁補償基金の仕組み	石油海事協会業務委員 日本石油(株)供給部輸入課 辻 哲 也	5
		27	4	3		油吸着材の現状と将来	排出油防除調査研究会	5
		28	5	3		原油タンカーA号衝突火災事故と消防船	海上災害防止センター 防災訓練所 教官 沢 田 兼 次	4
		29	1	5	2	1979年海上油濁国際会議に参加して	海上防災事業者協会 専務理事 船谷 近夫 (前 センター理事) 海上保安庁災害対策室 専門官 細坂 政弘 (前 センター防災部 業務課長)	4
30	4	1	2	海外事情(空気ジェット式オイルフェンスの 開発と実験)		7		

第 3 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
3	1979年9月	31	1	4	0	石油コンビナートの海上防災対策	海水油濁処理協力機構 指導書作成委員会 委員長 佐々木 三夫 (東亜燃料工業K. K. 環境安全室長)	7
		32	1	1	0	海洋油濁防止研究所の施設と業務	(財)日本造船技術センター 海洋油濁防止研究所 所長 矢 崎 敦 生	7
		33	1	1	0	座談会 油処理剤を語る ー正しい認識のためにー		10
		34	4	3		海外事情 ー油処理剤の性能評価ー	翻 訳	7
			5	2	1	ーカリブ海における大型タンカー・ 衝突・火災・油流出事故ー ーメキシコの海底油田事故ー	翻 訳	2

第 4 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
4	1979年11月	35	1	4	3	船主責任制限制度について	運輸省海運局総務課 法規係長 山下 恭弘	6
		36	1	3	5	大型タンカーバースにおける防災対策について	海上保安庁警備救難部 海上災害対策室長 土屋 彬	6
		37	4	3		正しく使用すれば油処理剤は安全である	東京大学生産技術研究所 教授 早野 茂夫	5
		38	5	3		続 原油タンカーA号衝突火災事故	海上災害防止センター 防災訓練所 教官 沢田 兼次	5
		39	4	2	0	油処理剤を緊急大量に調達する方法	海上災害防止センター 防 災 部	2
		40	5	3		メキシコにおける油田噴出事故の経過	海上災害防止センター 防災訓練所 教官 友永 幸讓	8

第 5 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
5	1980年1月	41	1	4	0	船舶廃油の陸上処理施設について	運輸省港湾局環境整備課 環境整備第二係長 村松 史朗	12
		42	1	4	3	第8宮丸事件と国際油濁補償基金 —その実務処理方式をめぐって—	弁護士 小川 洋一 弁護士 岡部 博記	6
		43	2	4	3	LNGについて	大阪瓦斯(株) 工学博士 前澤 正禮	14
		44	5	2	0	メキシコの海底油田噴出事故のその後	翻 訳	1
		45	5	2	0	燃え続ける2隻のタンカー	翻 訳	1

第 6 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
6	1980年3月	46	2	4	0	シーバースについて	石油連盟技術環境部 参与 松本 謙	9
		47	2	4	3	LPGについて	三菱液化瓦斯(株)開発部長 岩下 優	16
		48	2	4	0	燃焼ということ	海上災害防止センター 防災訓練所 主任教官 内海 秀雄	4
		49	5	3		メキシコ海底油田噴出事故と油回収船	—	3
		50	2	4	1	消火器連動式火災警報装置	—	2

第 7 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
7	1980年5月	51	4	3		排出油防除資材の検定について	(財)日本舶用品検定協会 検定部長 戸村 了三	4
		52	2	4	4	危険化学品の海上防災について (その1)	編 集 委 員 会	16
		53	2	2	5	流出油防除資材の使用法に関する調査研究 (その1)	海上防災事業者協会 海上災害防止センター	13
		54	5	3		メキシコの海底油田噴出完全に止まる	翻 訳	1

第 8 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
8	1980年7月	55	1	1	0	海洋油田開発について	石油資源開発(株) 生産部長 兵頭 経 義	10
		56	2	4	4	危険化学品の海上防災について (その2)	編 集 委 員 会	7
		57	2	2	5	流出油防除資材の使用法に関する調査研究 (その2)	海上防災事業者協会 海上災害防止センター	8
		58	5	2	1	第三日丹丸排出油事故	海上災害防止センター 防 災 部	3
		59	2	3	1	海外防災訓練機関調査報告	海上災害防止センター 理事 久世 勝己 防災訓練所次長 鈴木 淑夫	6

第 9 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
9	1980年9月	60	1	4	0	海洋環境整備事業の概要	港湾局環境整備課 岡田 喬 雄	3
		61	7			全国港湾別油回収船配置一覧表	海上災害防止センター	8
		62	2	4	4	危険化学品の海上防災について (その3)	編 集 委 員 会	9
		63	2	2	5	流出油防除資材の使用法に関する調査研究 (その3)(最終)	海上防災事業者協会 海上災害防止センター	8
		64	5	3		パナマ運河で原油170,000ガロン流出, 漁業被害は魚7匹	翻 訳	1
		65	5	2	1	ゼンリン・グローリー号沈没・油排出事故	海上災害防止センター 防 災 部	4

第 10 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
10	1980年11月	66	1	3	1	海洋汚染及び海上災害の防止に関する 法律の改正について	海上保安庁警備救難部 海上公害課 床井 健	5
		67	2	4	5	オイルフェンスの係留法	神戸商船大学 近 藤 五 郎	5
		68	4	2	2	油ゲル化剤による流出油の処理 (その1)	(社)日本海難防止協会 本 橋 大 義	8
		69	2	4	0	海の水の動き (その1) 海流	水路部 倉品 昭二	3
		70	7			危険化学品の海上防災に関する参考図書	編 集 委 員 会	3
		71	5	2	1	タンカー豊成丸衝突排出油事故	塩釜海上保安部	3
		72	5	3		豊成丸流出油防除作業に従事して	宮城マリンサービス(株) 日高丸二号船長 亀山 賀 寿 夫	2
		73	4	3		外洋型大型オイルフェンスについて	四日市海上保安部	2
		74	3	4		大規模地震対策訓練について	三管本部救難課	3

第11号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
11	1981年1月	75	1	3	1	海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律の改正に伴う関連政省令の施行について	海上公害課 床 井 健	5
		76	4	3		排出油防除資材について	神戸商船大学 近 藤 五 郎	7
		77	4	2	2	油ゲル化剤による流出油の処理 (その2)	(社)日本海難防止協会 本 橋 大 義	5
		78	2	4	0	海の水の動き (海上防災のための海洋の知識) (その2)	海上保安庁 水路部 海象課	5
		79	3	4		米国LNG防災コースの3日間	海上災害防止センター 防災訓練所 主任教官 内 海 秀 雄	5
		80	5	2	1	光明園排出油事故について	海上災害防止センター 防 災 部	3
		81	5	2	0	海上災害防止センターの排出油防除措置の実績について	海上災害防止センター 防 災 部	4

第12号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
12	1981年3月	82	2	4	2	(続)流出油の性状と回収 (その1)	石油連盟 参与 松本 謙	6
		83	2	4	0	海の水の動き (海上防災のための海洋の知識) (その3) 海上における油の漂流と拡散	水路部 海象課	3
		84	2	3	1	国際油濁防除視察団に参加して	海上災害防止センター 江 本 文 則 小 泉 充 義	14
		85	2	4	2	オイルフェンスの二重展張等の際生ずる過流 について(二重展張の効果)	水 路 部 海 象 課 倉 品 昭 二	6
		86	5	2	1	元栄丸排出油事故について	海上災害防止センター	3
		87	4	2	2	油吸着材の性能と取扱い	油吸着材公害防止協議会	2

第13号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
13	1981年5月	88	3	2		排出油防除の初期段階の作業について	海 上 防 災 課	3
		89	2	4	2	(続) 流出油の性状と回収 (その2)	石油連盟 参与 松本 謙	5
		90	2	4	0	海の水の動き(海上防災のための海洋の知識) (その4) 海上における油の漂流と拡散	水路部 海象課	2
		91	3	3		天然ガス火災の消火	海上災害防止センター 防災訓練所 主任教官 内 海 秀 雄	14
		92	2	2	5	オイルフェンスの使用法 —オイルフェンスの錨による固定法—	海上災害防止センター	12

第14号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
14	1981年7月	93	2	4	1	LNG船の概要について	前海上防災課 島坂 治郎 第三管区海上保安本部 救難課 下村 典夫	13
		94	2	4	0	Demoussifierについて	神戸商船大学 近藤 五郎	5
		95	2	2	5	油回収装置の使用法について	海上災害防止センター 海上防災事業者協会	5
		96	2	4	0	京浜港横浜・川崎付近の流況について	水路部 海象調査官 遠藤 宏	3
		97	3	2		メキシコ石油イクストック油井流出油に対する 分散剤の空中散布	エッソスタンダード石油(株) 竹中 重二	6
		98	2	4	2	NGLについて	石油連盟 松本 謙	6

第15号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
15	1981年10月	99	1	1	0	化学消防船との出会い (センターと石油連盟)	石油連盟 常務理事 多々井 全二	2
		100	1	9		海上災害防止センター創立5周年に寄 せて(消防船を引き受けて)	防災特殊曳船(株) 取締役社長 小林 恒治	2
		101	1	1	3	海上災害防止センターの今後の進む べき方向について	海上防災課長 新井 俊一	2
		102	1	1	3	油流出事故の処理に当たって思うこと (海上保安庁の第一線から見て)	神戸海上保安部長 竹中 源三郎	3
		103	1	1	3	海上防災に関する有識者の意見	—	6
		104	1	9		センター創生期の労苦と今後を語る	—	10
		105	1	9		海上災害防止センター5年間の歩み	—	17
		106	5	2	9	KARANA ANPAT号の火災について	鹿児島海上保安部	3
		107	2	4	0	京浜港横浜第五区至横須賀港付近の流況に ついて	水路部 海象調査官 遠藤 宏	4
		108	1	5	2	1981年海上油濁国際会議に参加して	石油連盟 松本 謙	6
109	3	2		排出油防除作業を通じて得た教訓・注意事項 (その1)	海上災害防止センター 防災部	4		

第16号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
16	1982年1月	110	1	2	1	1973年海洋汚染防止条約に関する 1978年議定書について	海上公害課 床井 健	6
		111	2	4	1	"C. O. W."とは —原油洗浄方式について—	日本海事協会 荒井 広範	9
		112	2	4	2	漂流油量の推定	—	1
		113	4	3		最新型の油回収装置	石油連盟 海水油濁処理協力機構	9
		114	5	3		ある漏油事故の教訓	東京タンカーマリンサービス(株) 喜入営業所	4
		115	5	3		排出油防除作業を通じて得た教訓・注意事項 (その2)	海上災害防止センター 防災部	7

第17号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
17	1982年3月	116	2	4	2	流出油の焼却処理について	神戸商船大学 近藤五郎	7
		117	2	3	1	英国・オランダにおけるSTCW条約関連の 訓練状況等の調査に出張して	海上防災課 (前海上災害防止センター 防災部業務課長) 山田 静麿 海上災害防止センター 教官 鶴迫 正人	15
		118	2	4	0	伊良湖水道付近の流況について	四管本部 相浦圭治	4
		119	2	2	5	オイルフェンスの接続法に関する調査研究 (ターミネータークリップの使用法)	海上防災事業者協会 海上災害防止センター	11

第18号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
18	1982年5月	120	5	2	1	原油タンカーポリネシア号の火災事故について	三管本部警備課長 (前救難課長) 桑原康記	5
		121	3	2		タンカー内残存積載油抜き取り移送システム —OIL TRANSFER SYSTEM—(OTS)	住友商事(株)海洋開発部長 溝端 智	17
		122	2	4	0	伊勢湾北部の流況について	四管本部水路部 相浦圭治	6
		123	3	2		油処理剤(分散剤)の空中散布	ドバロップ協会	6

第19号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
19	1982年7月	124	4	3		濃縮型分散剤 (Dispersant Concentrates)について	神戸商船大学 近藤五郎	4
		125	2	4	9	原子力の基礎	海上防災課	9
		126	3	1		タンカーのアース線について	パル SHIPPING(株) 藤本 芳雄	6
		127	2	2	5	油吸着材の使用法に関する調査研究	海上災害防止センター	13
		128	2	4	0	中山水道付近の流況について	四管本部 相浦 圭治	3

第20号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
20	1982年9月	129	5	2	1	座礁船チャーシン号の流出油処理について	八戸海上保安部 今野 宗郎	7
		130	5	2	1	タンカー第2しおた丸排出油事故	海上災害防止センター 防災部	3
		131	5	2	1	タンカー第八福德丸排出油事故	海上災害防止センター 防災部	4
		132	2	1	4	油濁事故発生の危険評価	石油連盟 海水油濁処理協力機構	14
		133	2	4	0	坂出港の潮流について	水路部 中能 延行	4

第21号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
21	1982年11月	134	1	1	0	大規模地震時の海上救援活動	海上防災課長 竹内 寿太郎	9
		135	5	3		海洋油田における暴噴対策と事故例 (その1)	東京大学 田中 彰一	9
		136	1	1	0	外航タンカー海運の現状	日本郵船(株) 調査室	13
		137	2	4	0	東播磨港付近の潮流	水路部 蓮池 克己	2
		138	1	4	9	各国における油処理剤の使用に関する 法規制	海上災害防止センター 竹中 重二	7

第 2 2 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
22	1983年1月	139	1	4	1	地震防災と総合防災訓練	海上防災課	14
		140	5	3		海洋油田における暴噴対策と事故例 (その2)	東京大学 田中彰一	7
		141	5	3		ベテルギウス号大爆発事故 (その1)	海上災害防止センター 竹中重二	14
		142	2	4	0	神戸港の潮流	水路部 蓮池 克己	2

第 2 3 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
23	1983年3月	143	2	4	1	球型独立タンク方式LNG船の概要について	七管本部 長尾 計 四管本部 坪井 幸蔵	13
		144	5	2	1	ACADEMY STAR号の流出事故について	海上災害防止センター 防 災 部	7
		145	5	3		ベテルギウス号大爆発事故 (その2)	海上災害防止センター 竹中重二	7
		146	2	1	5	水面上に流出した揮発性油の初期揮散 について	海洋環境技術研究所 矢崎 敦生 東海大学 田宮 真	9
		147	1	4	4	米国における油濁処理事業者の現状 (OSIR No. 42 Oct 1982)	海上災害防止センター	4

第 2 4 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
24	1983年5月	148	1	3	1	海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律の 一部を改正する法律案について	海上防災課	4
		149	2	1	2	集油剤の性能比較試験	(前)神戸商船大学 近藤 五郎 海上保安試験研究センター 森 輝 信	5
		150	2	1	4	水面上における石油製品の拡散と蒸発 (その1)	石油連盟 松本 謙	6
		151	2	4	0	東京港第六台場付近潮流調査報告書	東京港連絡橋航行安全 調査委員会	13
		152	2	4	0	尼崎、大阪北部付近の潮流	水路部 蓮池 克己	2
		153	2	2	5	海上防災の調査研究報告 (その1) (油ゲル化剤の評価に関する調査研究)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	7
		154	5	2		陸上タンク火災ーベネズエラ(OSIR DEC・1982) 耐火性オイルフェンス(OSIR JAN・1983)	海上災害防止センター	2

第 2 5 号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
25	1983年7月	155	5	2	1	大型タンカーPRIMA ROSA号の爆発事故	千葉海上保安部 海上保安協会千葉支部	11
		156	2	1	4	水面上における石油製品の拡散と蒸発 (その2)	石油連盟 松本 謙	6
		157	2	2	5	海上防災の調査研究報告(その2) (油処理剤の散布装置に関する研究報告)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室 海上防災事業者協会	6
		158	2	4	3	LPG、LNGIに対する見解、実務、基本方針と 安全 (その1) USCG(米国沿岸警備隊)	海上災害防止センター	15

第26号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
26	1983年9月	159	2	4	1	73年海洋汚染防止条約・78年議定書の発効と オイルタンカー	オ ー ル 商 会 藤 本 芳 雄	12
		160	2	4	3	LPG、LNGに対する見解、実務、基本方針と 安全（その2）USCG(米国沿岸警備隊)	海上災害防止センター	18
		161	2	4	0	1983年油濁会議と米国における防除技術の 動向	海上災害防止センター 吉 本 昌 由 海上災害防止センター 竹 中 重 二	4
		162	2	2	5	海上防災の調査研究報告（その3） (エマルジョン・ブレーカーの性能向上のための 試験研究)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	4

第27号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
27	1983年11月	163	1	3	1	海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 の一部改正に伴う関係政省令の制定について	海 上 防 災 課 富 取 善 彦	8
		164	1	3	5	原油洗浄を伴う荷役の安全性に関する 指導について	海 上 防 災 課 宮 内 健	3
		165	2	1	5	構成炭化水素組成からみた軽質油の挙動	海上保安試験研究センター 石 田 米 治 青 木 繁 奥 野 正 彦 第五管区海上保安本部 末 吉 信 昭	14
		166	2	1	4	油・LPG・LNGの拡散について (その1)	石 油 連 盟 松 本 謙	7
		167	4	3		ムース解膠剤開発研究の背景	(前)神戸商船大学教授 近 藤 五 郎	5
		168	4	3		集油剤の対生物毒性試験	(前)神戸商船大学 近 藤 五 郎 海上保安試験研究センター 森 輝 信	1
		169	2	4	0	平郡水道付近(伊予灘北西部)の潮流	水 路 部 蓮 池 克 巳	3

第28号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
28	1984年月	170	1	3	1	総トン数の適用について (海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 及び関係政省令の改正)[解説シリーズ その1]	海 上 防 災 課 旗 手 光 清	2
		171	2	1	0	軽質油防除システム確立のための基礎研究 (その1)	海上保安試験研究センター 笠 井 正 一 松 本 二 郎 齊 藤 勝 治	16
		172	2	1	4	油・LPG・LNGの拡散について (その2)	石 油 連 盟 松 本 謙	6
		173	4	2	2	分散剤(油処理剤)の利用	海上災害防止センター 竹 中 重 二	23

第29号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
29	1984年3月	174	2	4	4	有害液体物質について (海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 及び関係政省令の改正)[解説シリーズ その2]	海上防災課 富取善彦	3
		175	2	1	0	軽質油防除システム確立のための 基礎的研究 (その2)	海上保安試験研究センター 笠井正一 松本二郎 斉藤勝治	11
		176	3	1		タンカーの静電気による事故と対策について (その1)	東京商船大学 森田豊	5
		177	2	1	0	港湾荷役の作業限界に関する基礎的研究 〔神戸商船大学紀要第31号(58.7.31)に掲載〕	神戸商船大学 久保雅義 今井昭夫 三木盾彦	9
		178	4	3		処理剤・ゲル化剤・集油剤	東海区水産研究所 大久保勝夫	12
		179	2	4	0	伊予灘東部の潮流	水路部 蓮池克己	2

第30号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
30	1984年5月	180	1	3	5	通報について (海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 及び関係政省令の改正)[解説シリーズ その3]	前海上防災課 岡部直己	2
		181	3	1		タンカーの静電気による事故と対策について (その2)	東京商船大学 森田豊	7
		182	3	5		荷役が可能な限界船体運動より見た限界 入射波高について	大阪大学 榎木亨 神戸商船大学 久保雅義	5
		183	2	1	3	CHINA LAKEにおけるU. S. COAST GUARDの液化可燃性気体の研究	翻訳 アラン・シュウナイダー	11
		184	2	2	2	油吸着材及び高粘度油回収装置の 調査研究について	海上防災事業者協会 大西成一	5
		185	7			排出油防除資材一覧表	—	

第31号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
31	1984年7月	186	1	3	1	海洋の汚染の防止のために使用する 薬剤の基準について (海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 及び関係政省令の改正)[解説シリーズ その4]	前海上防災課 岡部直己	3
		187	5	3		油による船舶火災について	海上保安大学校 小川勝	4
		188	3	1		タンカーの静電気による事故と対策について (その3)	東京商船大学 森田豊	5
		189	2	1	1	防波堤延長による港内静穏度の向上策に ついて	大阪大学 榎木亨 神戸商船大学 久保雅義	5
		190	2	2	4	海上防災の調査研究報告 (その1) (有害液体危険物質の防除技術 に関する調査研究)	海上災害防止センター 調査研究室	5
		191	1	4	0	英国における緊急対策及び人員資機材の 能力の再検討	海上災害防止センター 竹中重二 翻訳	5
		192	9			太陽、月及びオリオン星座等から方位を知る 方法 (その1)	海上災害防止センター 江本文則	7
		193	2	4	0	備讃、水島両航路の交差域付近における流況	水路部 蓮池克己	2

第32号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
32	1984年9月	194	4	3		油ゲル化剤について (海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 及び関係政省令の改正)[解説シリーズ その5]	前海上防災課 宮内健	3
		195	1	3	1	油ゲル化剤の試験方法について	海上保安試験研究センター 石田米治 青木繁	6
		196	3	2		油ゲル化剤使用マニュアル (財)日本船舶振興会 昭和55年度補助事業	(社)日本海難防止協会 海洋汚染防止研究部	10
		197	3	1		タンカーの静電気による事故と対策について (その4)	東京商船大学 森田豊	7
		198	2	2	3	海上防災の調査研究報告 (その2) (LNG、LPGの災害防止に関する調査研究)	海上災害防止センター 調査研究室	11
		199	2	1	1	港内係留船の船体運動の低減化について	大阪大学 榎木亨 神戸商船大学 久保雅義	7
		200	2	4	0	水島航路の潮流	水路部 蓮池克巳	2

第33号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
33	1984年11月	201	1	3	1	試験、研究又は調査のためにする油の排出の 承認について (海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 及び関係政省令の改正)[解説シリーズ その6]	前海上防災課 岡部直巳	2
		202	1	4	0	国家石油備蓄と防災体制	海上防災課 清水昭夫	3
		203	5	3		爆発性ガスによる船舶の爆発事故	海上保安大学校 小川勝	6
		204	3	1		タンカーの静電気による事故と対策に ついて (その5)	東京商船大学 森田豊	6
		205	2	2	4	海上防災の調査研究報告 (その3) (海上防災関係資料のしゅう集及び 解析に関する調査研究) (エマルジョン・ブレーカー性能向上のための試験研究)	海上災害防止センター 調査研究室	13
		206	1	4	0	油処理剤に対する考え方の変化	海上災害防止センター 竹中重二	3
		207	9			太陽、月及びオリオン星座等から位置を知る 方法 (その2)	海上災害防止センター 江本文則	7
		208	2	4	0	周防灘の潮流	水路部 蓮池克巳	2

第34号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
34	1985年1月	209	2	4	2	オイルフェンスの漏油防止	船舶技術研究所 上田浩一	10
		210	2	1	4	海上における油の拡散と性状変化	海上保安大学校 小川勝	10
		211	3	1		タンカーの静電気による事故と対策について (その6)	東京商船大学 森田豊	7
		212	2	2	2	海上防災の調査研究報告 (その4) (油処理剤の空中散布、経年変化)	海上災害防止センター 調査研究室	10
		213	9			動揺病(のりもの酔い) (その1)	香川医科大学 今枝彬郎	7

第35号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
35	1985年3月	214	1	1	1	安全の構造—ある技術者の発想—	東京大学 秋田 一雄	4
		215	3	1		貨油タンクの高粘度原油洗浄について	船舶技術研究所 渡辺 和夫	11
		216	2	1	2	海洋微生物による有機物の分解と機構	神戸商船大学 永田 進一	4
		217	2	4	1	防災艇あとむ号について	海上災害防止センター 防 災 部	4
		218	9			動揺病(のりもの酔い) (その2)	香川医科大学 今枝 彬郎	9
		219	3	1		タンカーの静電気による事故と対策について (その7)	前東京商船大学 森田 豊	5

第36号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
36	1985年5月	220	2	1	5	裁判資料としての浮流油鑑定分析法	前海上保安大学校 小川 勝	11
		221	4	1	2	油吸着材及び高粘度油回収装置の研究開発について(海上防災第30号及び33号関連)	海上防災事業者協会 大西 成一	5
		222	2	1	5	海洋微生物の炭化水素分解に及ぼす塩分と温度の影響	神戸商船大学 永田 進一	3
		223	3	1		タンカーの静電気による事故と対策について (その8) (最終)	東京商船大学 森田 豊	6
		224	9			動揺病 (のりもの酔い) (その3)	香川医科大学 今枝 彬郎	8
		225	5	3		タンカー火災事故の思い出	東京大学 秋田 一雄	4

第37号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
37	1985年7月	226	1	3	1	危険、有害物質とその防災対策について	海上防災課 川田 文弥	6
		227	1	2	0	国際条約の動向について	海上防災課 旗手 光清	1
		228	5	2	3	本邦における有害物質特異事故例 (エチルメルカプタン 漏洩事故)	キソー化学工業(株) 児玉 きよ子	5
		229	5	2	3	海外における有害物質事故事例	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	5
		230	2	2	4	有害液体物質防除手法の調査研究の概要	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	8
		231	3	1		有害液体物質データシステムについて	日本海難防止協会 海洋汚染防止研究部	6
		232	7			有害物質関係資料について	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	3
		233	2	1	5	流出油の油性エマルジョンに及ぼす無機塩の影響	神戸商船大学 永田 進一	5

第38号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
38	1985年9月	234	2	2	0	海上防災の調査研究報告（その1） （LNG、LPG積載船舶の海難発生時における 災害防止に関する調査研究）（中間報告）	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	11
		235	3	2		化学物質の防除の基本的な考え方	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	3
		236	4	3		集油剤のその後	元 神 戸 商 船 大 学 近 藤 五 郎	6
		237	2	1	4	可燃性の液体や蒸気の拡がり予測の問題点	東 京 大 学 秋 田 一 雄	4
		238	5	3		パナマ船SUNEEL No.5の沈没事故について	海上災害防止センター 佐 々 木 邦 昭	5
		239	9			動揺病(のりもの酔い)（その4）	香 川 医 科 大 学 今 枝 彬 郎	7

第39号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
39	1985年11月	240	2	2	0	海上防災の調査研究報告（その2） （海上防災関係資料のしゅう集解析）	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	5
		241	1	3	5	大型タンカー及び大型タンカーバースに係る 安全防災対策について	海 上 防 災 課 加 藤 純 次	14
		242	2	1	4	可燃性の液体と蒸気の拡がり予測の問題点 （続）	東 京 大 学 秋 田 一 雄	5
		243	9			簡単に潮汐を知る方法	海上災害防止センター 江 本 文 則	11
		244	9			動揺病(のりもの酔い)（その5）	香 川 医 科 大 学 今 枝 彬 郎	6

第40号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
40	1986年1月	245	2	2	4	海上防災の調査研究報告（その3） （有害危険性ガス検知剤の開発研究）	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	4
		246	1	5	3	海上災害の防除システムに関する専門家会議	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	5
		247	3	4		有害物質流出事故に対応する 要員の訓練の最低基準 （1984年有害物質流出会議における報告）	海上災害防止センター 竹 中 重 二 訳	6
		248	3	9		事故例シリーズ〔その1〕 酸欠ニュース	キソー化学工業(株) 児 玉 き よ 子	1
		249	3	2		港内及びその周辺におけるオイルフェンス展張 作業と護岸への取付固定装置	大 東 運 輸 (株) 坂 本 由 之	5
		250	9			動揺病(のりもの酔い)（その6）	香 川 医 科 大 学 今 枝 彬 郎	7
		251	2	3	1	ヨーロッパ体験記（北欧編）	海上災害防止センター 前 田 基 幸	6

第41号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
41	1986年3月	252	1	2	1	マルポール73/78条約の有害液体物質の排出規制について	海上公害課 吉田良治	6
		253	2	1	4	可燃性の液体と蒸気の拡がり予測の問題点(続)	東京大学 秋田一雄	4
		254	2	4	2	水中油について	油濁研究所 松本謙	6
		255	3	5		手動式緊急離脱システム -手動式ローディングアームにおける緊急時対策-	(株)新潟鉄工所 高橋忠也	8
		256	9			動揺病(のりもの酔い) その7	香川医科大学 今枝彬郎	7
		257	2	3	1	ヨーロッパ体験記(イギリス編)	海上災害防止センター 前田基幸	8
		258	7			油回収システム「ローリ」	—	2

第42号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
42	1986年5月	259	1	2	1	MARPOL 73/78条約附属書IIの改正について	運輸省 運輸政策局 小林秀次	5
		260	2	1	4	有害液体物質等の海上流出の現場検知法	海上保安試験研究センター 化学分析課	4
		261	2	1	4	可燃性の液体と蒸気の拡がり予測の問題点(続)	東京大学 秋田一雄	5
		262	2	4	3	LNGとNGLIについて	海上保安大学校 小川勝	6
		263	5	3		タンカープエルトリカン号事故の分析 -油濁事故への将来の対応に関する提言-	海上災害防止センター 竹中重二 訳	10
		264	5	2	0	昭和60年度海上災害防止センター 排出油防除業務(2号業務)実施概要	海上災害防止センター 防災部	5
		265	1	5	3	米国における有害液体物質事故に関する講演会 についてのアンケート調査結果について	海上災害防止センター 調査研究室	2

第43号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
43	1986年7月	266	1	5	3	海上防災に関する調査研究報告 (その1)(専門会議)	海上災害防止センター 調査研究室	12
		267	5	3		船舶における機関故障、特に燃料系統について	海上保安大学校 小川勝	6
		268	5	3		タンカープエルトリカン号事故の分析(続) —油濁事故への将来の対応に関する提言—	海上災害防止センター 竹中重二 訳	8
		269	4	1	0	防災資機材(オイルフェンス)についての 新しい構想	日本ソリッド(株) 波多野倫 安部裕夫	4
		270	9			動揺病(のりもの酔い)(その8)	徳島文理大学 今枝彬郎	5
		271	2	4	0	新しい台風の進路予報のあらし方	気象庁	1

第44号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
44	1986年9月	272	2	2	2	海上防災に関する調査研究報告 (その2)(外洋事故の防除技術)	海上災害防止センター 調査研究室	12
		273	2	4	2	石油汚染と識別技術の今むかし	海上保安試験研究センター 吉村廣三	4
		274	2	4	2	油検知機器について	油濁研究所 松本謙	6
		275	5	3		タンカープエルトリカン号事故の分析(続) —油濁事故への将来の対応に関する提言—	海上災害防止センター 竹中重二 訳	7
		276	9			動揺病(のりもの酔い)(その9)	徳島文理大学 今枝彬郎	3
		277	4	3		オイル・スーパージ型	日本ソリッド(株)	4

第45号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
45	1986年11月	278	6			センターの思い出	(財)日本船員奨学会 井上 弘	2
		279	1	1	3	これからのセンターに対する期待	海上防災課長 三澤 明	5
		280	1	1	3	体系的な海上防災のために	東京大学 秋田 一雄	2
		281	1	9		海上災害防止センター10年間の歩み	—	18
		282	2	4	2	輸入原油の性状・成分について	海上保安大学校 小川 勝	13
		283	1	5	2	米国における油濁会議について	海上災害防止センター 佐々木 邦昭	3

第46号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
46	1987年1月	284	2	2	4	海上防災に関する調査研究報告 (その3) (有害液体物質の防除技術)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	11
		285	1	5	3	海上災害の防除システムに関する専門家会議	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	8
		286	6			海上防災との出会い	海上災害防止センター 森 孝 顕	2
		287	2	4	2	油検知のためのリモートセンシング	油濁研究所 松本 謙	5
		288	2	4	2	混合原油分の識別方法について	海上保安大学校 小川 勝	5
		289	9			動揺病(のりもの酔い) (その10)	徳島文理大学 今枝 彬郎	4

第47号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
47	1987年3月	290	1	3	1	ケミカルの防除等について	海上保安庁 警備救難部 海上防災課	5
		291	2	2	0	海上防災に関する調査研究報告 (その4)(海上防災関係資料のしゅう集解析)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	8
		292	2	4	2	原油の図解による特性検索	海上保安大学校 小川 勝	10
		293	4	3		油処理剤散布装置 (ロトテック社吊下げバケツ方式)	英国ウォ-レンスプリング研究所 竹中 重二 訳	5
		294	9			動揺病(のりもの酔い) (その11)	徳島文理大学 今枝 彬郎	6
		295	1	1	0	企業利益と社会性	海上災害防止センター 石田 次成	2
		296	6			サビキ仕掛けで石鯛を釣る!!	安部 裕夫	3

第48号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
48	1987年5月	297	1	5	1	第24回海洋環境保護委員会に出席して	海上災害防止センター 鈴木 淑夫	9
		298	1	5	2	第8回有害物質流出防除会議について	海上災害防止センター 下川 宏	4
		299	2	4	2	機関事故防止面からみた潤滑油の品質管理	海上保安大学校 小川 勝	14
		300	9			動揺病(のりもの酔い) (その12)	徳島文理大学 今枝 彬郎	6

第49号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
49	1987年7月	301	2	2	4	昭和61年度海上防災に関する調査研究報告 (有害液体物値の防除技術)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	9
		302	1	4	0	国家石油備蓄基地における海上防災の考察	海上防災事業者協会 山 崎 速 雄	10
		303	2	4	2	石油の環分析方法について	海上保安大学校 小 川 勝	6
		304	3	4		海上防災訓練 指揮運用コースの新設について	海上災害防止センター 防 災 訓 練 所	2
		305	1	5	2	油濁会議(ボルチモア)の印象	海上災害防止センター 竹 中 重 二	3

第50号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
50	1987年9月	306	2	4	2	浮遊性危険物質の拡散防止と回収の検討 (1986年有害物質汚染防止会議資料)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	3
		307	2	2	2	海上防災に関する調査研究報告 (その2) (外洋事故の防除技術)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	7
		308	2	4	4	有害液体物質とその背景	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	4
		309	2	1	4	油濁排水における点源瞬間拡散の三次元 解析	海 上 保 安 大 学 校 小 川 勝	4
		310	5	2	1	インド船「VISHVA ANURAG号」の防除業務 に寄せて	海上災害防止センター 江 本 文 則	6
		311	1	4	0	国家石油備蓄基地における海上防災の考察	海上防災事業者協会 山 崎 速 雄	6
		312	5	2	1	東京電力大井火力発電所の火災事故に ついて	東 京 海 上 保 安 部 平 家 隆 雄	3
		313	6			消防訓練を指導して	海上災害防止センター 藤 井 孝	2

第51号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
51	1987年11月	314	2	1	3	流出有害液体物質からの発生蒸気を泡消火 薬剤で抑制する実験について	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	7
		315	3	4		パイコマ100型による実地油回収訓練に ついて	東北・北海道地区国備基地 広域海上防災協議会 海上災害防止センター	9
		316	2	1	1	船舶のビルジに対する油水分離器について	海 上 保 安 大 学 校 小 川 勝	13
		317	4	3		海洋汚染防止膜の考察 (その1)	海 洋 防 災 評 論 家 安 部 裕 夫	6
		318	6			戦争と石油雑感	防 災 特 殊 曳 船 (株) 深 見 渉	2
		319	6			浜田港と歩んだ60年	浜 田 港 運 (株) 宮 下 又 一	2

第52号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
52	1988年1月	320	1	5	3	昭和62年度海上災害の防除システムに関する専門家会議	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	8
		321	5	2	0	海上災害防止センター1・2号業務(排出油防除措置)の実績について	海上災害防止センター 防 災 部	5
		322	3	4		昭和62年度海上防災訓練(対契約防災措置実施者等)実施報告	海上災害防止センター 防 災 部	2
		323	1	5	1	IMO第25回海洋環境保護委員会に出席して	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	1
		324	2	3	1	LNGタンカー乗船記	海上災害防止センター 工 藤 健 太 郎	9
		325	4	3		海水汚染防止膜の考察 (その2)	海洋防災評論家 安 部 裕 夫	8
		326	6			随想 瀬戸内海と海上安全	内 外 運 輸 (株) 村 田 元 和	2

第53号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
53	1988年3月	327	5	3		外国における流出油事故事例	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	5
		328	4	3		排出油防除機材の保管・整備と耐用性	海上災害防止センター 機 材 部	6
		329	2	4	2	廃油ボール	海上保安試験研究センター 前 田 博	5
		330	1	1	0	海上災害防止センターの行動原理について	海上災害防止センター 石 田 次 成	2
		331	6			孫子と防災	海上災害防止センター 中 川 四 喜 春	2
		332	2	4	2	油検知への夢	油 濁 研 究 所 松 本 謙	4
		333	4	3		油処理剤について	流出油処理剤懇談会	7
		334	6			随想 思い出すままに	東京タンカーマリンサービス(株) 渡 辺 直 彦	2
		335	6			随想 梅ほころびて	西部マリンサービス(株) 中 島 計 介	1

第54号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
54	1988年5月	336	2	1	2	1979年カリフォルニア南部水域における油処理剤による流出油の分散実験(その1)	マコーリフ・アンド・アソシエーツ 竹 中 重 二 記	10
		337	4	1	2	油回収浮枠の試作とテストについて	海上防災事業者協会 山 崎 速 雄	9
		338	3	2		沈没船からの油の抜き取りの実例	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	6
		339	3	4		中国金山連合貿易会社の招待による消防技術指導講習について	海上災害防止センター 内 海 秀 雄	3
		340	6			随想 南国沖縄より	沖縄マリンサービス(株) 岡 良 金	2

第55号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
55	1988年7月	341	2	2	4	昭和62年度 海上防災に関する調査研究報告(有害ガスの防護技術等)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	7
		342	2	1	2	1979年カリフォルニア南部水域における油処理剤による流出油の分散実験(その2)	マコーリフ・アンド・アソシエーツ 竹 中 重 二 記	14
		343	4	3		YS式オイルスキミング・ウエルの門出	海上防災事業者協会 山 崎 速 雄	4

第56号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
56	1988年9月	344	2	1	4	流出油の経時変化と拡散	油 濁 研 究 所 松 本 謙	11
		345	2	4	9	界面活性剤について (その1)	海 上 保 安 大 学 校 小 川 勝	9
		346	4	3		固定式T型スライディング・ジョイントと可搬式 T型スライディング・ジョイントについて	大 東 運 輸 (株) 坂 本 由 之	6
		347	6			随想 思うままに	海 上 防 災 事 業 者 協 会 山 崎 速 雄	2

第57号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
57	1988年11月	348	5	3		危険物コンテナ船の事故事例	海 上 災 害 防 止 セ ン タ ー 調 査 研 究 室	5
		349	1	4	4	海上保安庁特殊救難隊	第 三 管 区 本 部 羽 田 特 殊 救 難 基 地	7
		350	4	3		油回収浮枠、YS式オイルスキミング・ウエル	—	4
		351	2	4	9	界面活性剤について (その2)	海 上 保 安 大 学 校 小 川 勝	4
		352	1	1	2	海上防災と陸上防災	油 濁 研 究 所 松 本 謙	4
		353	2	1	4	石油ガスの拡散	油 濁 研 究 所 松 本 謙	6

第58号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
58	1989年1月	354	1	2	1	MARPOL73/78条約附属書Vの実施について	環 境 庁 澤 木 純 一	8
		355	2	4	4	有害液体物質の分析	海 上 保 安 試 験 研 究 セ ン タ ー 前 田 博	5
		356	9			船舶の衝突を避けるために	海 上 災 害 防 止 セ ン タ ー 江 本 文 則	14
		357	6			地獄よりの生還	鶴 見 運 送 (株) 水 島 茂 夫	3
		358	6			インドネシア国あれこれ	海 上 災 害 防 止 セ ン タ ー 坂 本 正 美	6

第59号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
59	1989年3月	359	1	5	3	海洋汚染防除システムに関する東京セミナー	海 上 災 害 防 止 セ ン タ ー 調 査 研 究 室	9
		360	2	1	5	石油化学の基礎知識	海 上 保 安 大 学 校 小 川 勝	11
		361	5	2	3	スチレンモノマーの流出事故について	海 上 災 害 防 止 セ ン タ ー 佐 々 木 邦 昭	8
		362	5	2	0	海上災害防止センター2号業務の実績に ついて	海 上 災 害 防 止 セ ン タ ー 防 災 部	2
		363	6			随想=会員= 魚釣り雑学	三 崎 太 郎	3

第60号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
60	1989年5月	364	5	2	1	Exxon Valdez号流出油事故のあらまし	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	6
		365	3	2		油濁防除マニュアル (その1)	海上災害防止センター	3
		366	1	1	0	危険物規制と環境規制のはざま	東京大学 秋 田 一 雄	3
		367	5	2	1	タンカー沈没・油流出事故	第八管区本部 救難課	2
		368	5	3		ケミカルタンカーM号とS号の事故について	海上災害防止センター 防 災 部	3
		369	5	2	1	漁船T丸の油防除活動について	海上災害防止センター 佐 々 木 邦 昭	7
		370	5	3		流出油事故処理あれこれ	海上災害防止センター 江 本 文 則	11

第61号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
61	1989年7月	371	5	2	1	Exxon Valdez号流出油事故のあらまし (その2)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	7
		372	1	5	2	米国油濁調査団に参加して	海上災害防止センター 工 藤 健 太 郎	9
		373	1	1	3	ケミカルタンカーの防災に関する二つの提案	東 京 大 学 秋 田 一 雄	3
		374	3	2		大量原油流出事故への対応について	海上災害防止センター 佐 々 木 邦 昭	6
		375	3	2		油濁防除マニュアル (その2)	海上災害防止センター	6

第62号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
62	1989年9月	376	5	2	1	Exxon Valdez号流出油事故のあらまし (その3)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	8
		377	2	3	1	Exxon Valdez号流出油事故調査について	海上災害防止センター 橋 本 工	9
		378	6			西洋諸国の社会解体と東洋文明諸国の優位に ついて	日本海難防止協会 塩 原 礼 次 郎	8
		379	3	2		油濁防除マニュアル (その3)	海上災害防止センター	6
		380	6			安宅丸にまつわる話	秋 田 一 雄	2

第63号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
63	1989年11月	381	5	2	1	Exxon Valdez号流出油事故のあらまし (その4)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	8
		382	3	2		油防除に関する能力・効率・成果について	油 濁 研 究 所 松 本 謙	7
		383	3	2		油濁防除マニュアル (その4)	海上災害防止センター	5
		384	3	4		佐伯港の海上防災訓練を見学して思うこと	海上防災事業者協会 山 崎 速 雄	4
		385	6			江戸の船あれこれ	秋 田 一 雄	2

第64号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
64	1990年1月	386	2	3	1	Exxon Valdez号流出油事故調査について	海上災害防止センター 上 平 明	4
		387	1	1	9	優れた指導的な国家と海上防災	日本海難防止協会 塩 原 礼 次 郎	10
		388	2	4	0	界面系泡消火薬剤について	海上防災評論家 安 部 裕 夫	8
		389	6			乗合船・舟弁慶・宇治の柴舟	秋 田 一 雄	2
		390	6			沈黙の南太平洋	海上災害防止センター 佐 々 木 邦 昭	1

第65号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
65	1990年4月	391	1	5	3	海上災害の防除システムに関する専門家会議	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	6
		392	1	4	3	海上災害防止センター2号業務と船主責任 制限について	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	3
		393	2	4	1	海上水幕船について	東 京 電 力 (株)	4
		394	1	1	0	海上防災産業とその将来	海上防災事業者協会 山 崎 速 雄	4
		395	2	3	1	LNG船体験航海記	徳 山 海 上 保 安 部 岡 周 史	4
		396	3	2		油濁防除マニュアル (その5)	海上災害防止センター	6
		397	6			優れた日本文化とは	日本海難防止協会 塩 原 礼 次 郎	4
		398	6			黒船の載った瓦版	秋 田 一 雄	3

第66号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
66	1990年7月	399	1	2	0	大規模海洋汚染事故に対する国際的な動向	海上保安庁 海上防災課 浅 井 廣 志	3
		400	5	2	1	MARITIME GARDENIA号排出油防除措置に ついて(その1)	海上災害防止センター 坪 木 隆 裕	5
		401	2	2	4	平成元年度海上防災に関する調査研究報告 (有害液体物質の防除、資機材)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	16
		402	1	9		日本航海学会賞の受賞	海上災害防止センター	1
		403	1	1	2	油流出と油処理剤	流出油処理剤懇談会 荒 木 宜 人	3
		404	4	3		改良型オイルフェンス係止用スライディングジョイント について	海上災害防止センター 江 本 文 則	3

第67号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
67	1990年10月	405	1	1	2	マリタイム・ガーデンア号海難対策本部 を指揮して	第 八 管 区 本 部 茅 根 滋 男	4
		406	1	1	2	座礁船からの流出重油回収の災害派遣に 出動して	陸上自衛隊第7普通科 連隊	3
		407	1	3	4	米国における油濁責任・補償立法の動き	海上災害防止センター 堀 昭 男	11
		408	4	3		多目的油分散剤バイオソルブ(BIO SOLVE) の紹介	ア ル ベ ス (株) 井 後 晴 雄	3
		409	5	3		アリゾナ号事件について	海 洋 興 業 (株) 中 川 久	5
		410	6			大分港開港25周年を迎えて	大分港振興協議会 杉 山 無 事 生	4
		411	5	3		宇高連絡船紫雲丸の沈没とその余波 (その1)	元 海上保安学校長 渡 辺 加 藤 一	7
		412	6			随筆「破船の油污せしと」	石 油 海 事 協 会 高 橋 清	3
		413	6			日本の優れた音楽文化	日本海難防止協会 塩 原 礼 次 郎	4
		414				米軍用船パマンセット号 流出油火災事故の思い出	海上災害防止センター 江 本 文 則	2

第68号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
68	1991年1月	415	5	2	1	MARITIME GARDENIA号排出油防除措置について (その2)	海上災害防止センター 防災部 中村 勉	4
		416	1	1	2	若狭湾での座礁事故二題 (マリタイム・ガーディニア号の流出油事故に思う)	海上自衛隊舞鶴地方 総監 海将 手塚 正水	4
		417	3	2		排出油の現場燃焼	油 濁 研 究 所 松 本 謙	6
		418	5	3		宇高連絡船紫雲丸の沈没とその余波 (その2)	元海上保安学校長 元神戸海難防止協会 理事 渡 辺 加 藤 一	4
		419	6			海の雑談 (海中考古学)	東京商船大学 名誉教授 茂 在 寅 男	4
		420	1	1	0	中東危機と内外石油情勢について	石油連盟外国調査部 部長 長 谷 川 晃 一	8
		421	1	1	2	防災と環境保全の技術的展望	海上防災評論家 安 部 裕 夫	4

第69号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
69	1991年4月	422	1	2	3	1990年の油汚染に対する準備、対応及び協力に関する国際条約について (解説)	海上保安庁 海上防災課 森 淳 一 郎	31

第70号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
70	1991年7月	423	5	3		EXXON VALDEZ号流出油事故対応の問題点と対策	海上災害防止センター 調査研究所 堀 昭 男	12
		424	5	2	1	MARITIME GARDENIA号排出油防除措置について (その3)	海上災害防止センター 防災部業務課 係長 鏡 信 春	9
		425	5	3		ペルシャ湾原油流出の「国際緊急援助隊」に参加して	海上災害防止センター 函 館 支 所 長 佐 々 木 邦 昭	11
		426	5	3		1990年中の危険物に係る海上運送事故	東京大学名誉教授 秋 田 一 雄	5
		427	1	5	0	海上防災研究会及び代理店会議の開催について	海上災害防止センター	3
		428	5	3		千葉港における防災訓練と連発流出油事故の対応について	大東運輸株式会社 坂 本 由 之	7

第71号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
71	1991年10月	429	1	9		海上災害防止センター15年間の歩み	海上災害防止センター	22
		430	1	9		座談会 海上災害防止センター創立15周年を迎えて	—	10
		431	5	3		ペルシャ湾流出原油の「国際緊急援助隊」に参加して (その2)	函 館 支 所 長 佐 々 木 邦 昭	6
		432	5	3		「国際緊急援助隊員」のみたアラビア事情	日本サルベージ(株) 技師長 坂 井 信 介	7
		433	5	3		世界の流出油事故	調査研究室 堀 昭 男	6

第72号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
72	1992年1月	434	1	3	4	「1990年米国油濁法」とその問題点 (その1)	調査研究室 堀 昭 男	8
		435	2	2	4	有害液体物質の資機材に関する調査研究	調 査 研 究 室	15
		436	1	4	4	鹿児島支所開設	—	2
		437	1	5	0	油汚染緊急計画検討委員会について	総 務 部	2
		438	1	5	3	日米油防除専門家会議の開催について	海上保安庁警備救難部 海 上 防 災 課 専門官 平 原 祐	3
		439	5	3		ペルシャ湾原油流出の「国際緊急援助隊」に 参加して (その3)	防災訓練所 教官 上 平 明	14
		440	4	3		YS式油導入浮枠の紹介	大東運輸株式会社 千葉支店 防災課 坂 本 由 之	5
441	6			随想「釣り雑学」	安 部 裕 夫	3		

第73号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
73	1992年4月	442	1	5	1	「油濁防止緊急措置手引書」作成のためのガイド ライン及びひな型の採択(MEPC32報告)	海上保安庁警備救難部 海 上 防 災 課 長 桑 原 薫	9
		443	1	3	4	「1990年米国油濁法」とその問題点 (その2)	海上災害防止センター 堀 昭 男	12
		444	1	4	0	OSPAR計画について	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	7
		445	2	2	2	湾岸流出原油のムース解乳化試験に ついて	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	8
		446	2	3	1	英国VIKOMA社を訪問して	海上災害防止センター 函 館 支 所 長 佐 々 木 邦 昭	9

第74号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
74	1992年7月	447	1	5	2	油濁防止技術の研究開発に関する国際会議 (International Oil Spill R&D Forum)について	海上災害防止センター 調 査 研 究 室 長 鈴 木 淑 夫	5
		448	1	3	4	「1990年米国油濁法」とその問題点 (その3)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室 堀 昭 男	17
		449	2	1	2	海洋の油汚染	大阪工業技術試験所 研究室長 東 国 茂	13
		450	6			「随想」英会話なんてえものは	海上災害防止センター 理事 堀 部 昭 武	2

第75号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
75	1992年10月	451	1	3	4	「1990年米国油濁法」とその問題点 (その4)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室 堀 昭 男	9
		452	2	2	4	平成3年度海上防災に関する調査研究報告 書 (その1) (有害液体物質の海中モニタリ ングタンカー等の消防システム)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	10
		453	5	2	0	平成3年度2号業務実施状況について	海上災害防止センター 業 務 課 中 西 弘 一	6
		454	5	3		初心忘るるべからず -あるLPG船の事故について-	海上災害防止センター 理事 土 方 浩	5

第76号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
76	1993年1月	455	1	5	1	第33回海洋環境保護委員会(MEPC33) 報告	海上保安庁警備救難部 海上防災課長 佐々木直彦	4
		456	2	2	2	平成3年度海上防災に関する調査研究報告書 (その2) (流出油燃料システム油処理剤みによる最適防除手法)	海上災害防止センター 調査研究室	7
		457	3	5		LNGの船間移送について	アルン・エル・エヌ・ジー 輸送(株) 大塚至毅	9
		458	4	3		防災艇「かいもん」搭載新型油回収装置について	防災部業務課 中西弘一	5
		459	3	4		フィリピン・インドネシア合同流出油防除訓練に参加して	フィリピン政府派遣 海難救助専門家 石間聡孝	5

第77号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
77	1993年4月	460	1	4	3	タンカーによる油濁損害に対する責任 ・補償制度 (その1)	海上災害防止センター 調査研究室 堀昭男	17
		461	5	2	1	相次ぐタンカーの油濁事故	海上災害防止センター 調査研究室	13
		462	1	1	0	シップ・アンド・オーシャン財団筑波研究所の 油濁防止施設と調査研究について(上)	シップ・アンド・オーシャン財団 波研究所次長 月野良久	15
		463	3	4		平成4年度海上防災訓練、同講習会実施 状況について	海上災害防止センター 防災部業務課 中西弘一	4
		464	3	4		救難・防災研修フォローアップ調査報告	海上保安庁警備救難 部 海上防災課 専門官 堀田省吾	2

第78号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
78	1993年7月	465	1	4	3	タンカーによる油濁損害に対する責任・補償制度 (その2)	海上災害防止センター 調査研究室 堀昭男	15
		464	5	2	1	自動車運搬船C丸の流出油事故について	海上災害防止センター 防災部	4
		467	2	3	1	アメリカの防災事情 #NAME?	海上災害防止センター 理事 山下哲郎	5
		468	9			索星盤について	海上防災事業者協会 江本文則	6

第79号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
79	1993年10月	469	1	4	3	タンカーによる油濁損害に対する責任 補償制度 (その3)	海上災害防止センター 調査研究室 堀昭男	15
		470	1	1	3	海上災害防止センター調査研究業務に関する 懇話会について	海上災害防止センター	10
		471	5	2	0	平成4年度2号業務実施状況について	海上災害防止センター 防災部	3
		472	5	2	1	釧路沖地震によるアスファルト流出事故に ついて	海上災害防止センター 防災部業務課 中西弘一	3
		473	5	2	1	泰光丸流出油事故について	海上災害防止センター 防災部業務課	5
		474	3	2		流出油の性状観察と効果的防除法の研修会 について	(株)ダイトーコーポレーション 千葉支店 坂本由之	8

第80号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
80	1994年1月	475	5	3		EXXON VALDEZ号流出油事故のその後 —訴訟をめぐるQ&A—	海上災害防止センター 調査研究室 堀 昭 男	10
		476	2	2	2	平成4年度海上防災に関する調査研究報告 (流出油燃焼システム)	海上災害防止センター 調査研究室	7
		477	1	1	0	シップ・アンド・オーシャン財団筑波研究所の 油濁防止施設と調査研究について(下)	筑波研究所次長 月 野 良 久	17
		478	1	4	1	OSPAR計画の航跡	海上保安庁警備救難部 海上防災課 国際係 萩 原 貴 浩	4
		479	1	4	4	「アセアン海域石油安定輸送協議会」 設立について	海上災害防止センター	1
		480	3	4		海上災害防止センター訓練所の訓練に 参加して	熱原輸送(株) 高平 時彦 東京電力(株)横浜火力 発電所 上條 雅功	2

第81号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
81	1994年4月	481	1	5	2	日韓海洋汚染防除専門家会議について	海上保安庁警備救難部 海 上 防 災 課	3
		482	1	4	3	民間油濁補償協定(TOVALOP-S/CRISTAL) の1994年改正 —米ドルからSDRへ	海上災害防止センター 調査研究室 堀 昭 男	18
		483	3	4		平成5年度海上防災訓練及び講習会の実施 状況について	海上災害防止センター 防災部 業務課 中 西 弘 一	3
		484	3	4		油回収ネット等の公開テスト実施について	海上防災事業者協会	19
		485	3	4		防災訓練「商船三井客船・客船コース」 を受講して	—	2
		486	5	3		Nassia号衝突・爆発事故(1994.3.13) について	海上災害防止センター	3

第82号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
82	1994年8月	487	5	3		EXXON Valdez号流出油事故に関する 米国コースト・ガードの最終レポート	海上災害防止センター 調査研究室 堀 昭 男	11
		488	2	2	4	平成5年度海上防災に関する調査研究報告 (その1)(有害液体物質の海中モニタリングシステム)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	7
		489	3	4		PREP Exercise Honolulu94 米国ホノルル地区油防除訓練について	海上保安庁警備救難部 海 上 防 災 課 企画係長 葛 西 正 記	4
		490	5	2	0	Seki号衝突・油流出事故について	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	2
		491	6			燃えない油を燃す話 —ムース化油の焼却—	東京大学名誉教授 秋 田 一 雄	3
		492	6			スカンジナビアの風 第一回 北の大地に育むしたたかな女性達	東京商船大学 渡 辺 豊	2

第83号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
83	1994年10月	493	1	1	3	「提言」より効率良い流出油防除をめざして	前 東京大学教授農学 博士 徳 田 廣	2
		494	1	3	2	油濁損害賠償保障法の改正 —69年CLC/71年FC改正議定書加入—	海上災害防止センター 堀 昭 男	10
		495	2	2	2	平成5年度海上防災に関する調査研究報告 (その2)(油処理剤による最適防除手法)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	8
		496	3	4		PREP Exercise Honolulu94 米国ホノルル地区油防除訓練について (その2)	海上保安庁警備救難部 海 上 防 災 課 企画係長 葛 西 正 記	4
		497	2	1	2	油処理費用の算出手法について 油流出事故における費用算定モデルに 関する研究	株式会社住友海上リスク 総 合 研 究 所 小 林 誠 社団法人日本海事検定 協会 千葉支部 能 勢 正 貴 稲 井 邦 夫	10
498	6			スカンジナビアの風 第二回 北緯60度の夏	東 京 商 船 大 学 渡 辺 豊	2		

第84号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
84	1995年1月	499	1	5	2	第2回日韓海洋汚染防除専門家会議に ついて	海上保安庁警備救難部 海 上 防 災 課	2
		500	5	2	1	タンカー豊孝丸原油流出事故について (その1)	海上災害防止センター 防 災 部 長 代 理 佐々木 邦昭	12
		501	2	2	2	ムース化油焼却処理公開試験について	海上災害防止センター 調 査 研 究 室 調 査 研 究 員 森 本 和 博	4
		502	4	1	2	新しい防災資機材について	海上災害防止センター 調 査 研 究 室 室 長 代 理 藤 井 孝	9
		503	1	4	3	EXXON Valdez号事故に対する民事訴訟 —オイル・ジャイアントと住民の闘い—	海上災害防止センター 堀 昭 男	6
		504	3	4		PREP Exercise Honolulu94 米国ホノルル地区油防除訓練について (その3)	海上保安庁警備救難部 海上防災課 企画係長 葛 西 正 記	9
		505	2	1	2	油処理費用の算出手法について (その2) —油流出事故における費用算定モデルに 関する研究Ⅱ—	株式会社住友海上リスク 総 合 研 究 所 小 林 誠 社団法人日本海事 検定協会 千葉支部 能 勢 正 貴 稲 井 邦 夫	8

第85号

号数	(西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
85	1995年4月	506	2	2	2	平成6年度海上防災に関する調査研究 報告 (その1) (ムース化油の焼却処理)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室 室 長 代 理 藤 井 孝	5
		507	2	3	1	海上防災体制に関する海外調査について (その1) (ムース化油の焼却処理)	石油公団備蓄業務部 安 全 防 災 課 長 高 橋 正 一	10
		508	3	4		国際協力の表と裏 インドネシア海上防災技術指導を終えて	海上保安庁警備救難部 海上防災課国際係 萩 原 貴 浩	3
		509	6			スカンジナビアの風 (第三回)スウェーデンコーストガードとの出会い	東 京 商 船 大 学 渡 辺 豊	5

第86号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
86	1995年7月	510	1	3	1	海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律の一部改正について(解説)	海上保安庁海上防災課 葛西正記	3
		511	1	4	4	「海上公害」から「海上環境」へ	海上保安庁 海上環境課	1
		512	1	4	4	「機動防除隊(NST)」誕生	海上保安庁 海上防災課	2
		513	1	4	4	新たな防災拠点「横浜海上防災基地」	海上保安庁 海上防災課	2
		514	1	1	0	「海上災害防止センター充実強化計画」及び「消防船の建造」	海上災害防止センター	3
		515	2	2	2	平成6年海上防災に関する調査研究報告(その2) (油処理剤の性能の再評価)	海上災害防止センター 調査研究室長代理 藤井孝	10
		516	2	4	1	衝突と船の強さ	元 船舶技術研究所長 長澤準	7
		517	6			スカンジナビアの風(最終回) スカンジナビアンアルプス、フィヨルドに行く	東京商船大学 渡辺豊	5
		518	2	4	4	(寄稿) サリン(Sarin)について	キソー化学工業(株) 社長 児玉きよ子	3

第87号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
87	1995年10月	519	1	5	2	第2回国際油汚染研究開発フォーラムについて	海上災害防止センター 調査研究室長代理 藤井孝	5
		520	4	2	2	油防除資機材の運用について(第1回オイルフェンス)	海上災害防止センター 防災部 部長代理 佐々木邦昭	23
		521	2	4	2	わが国の石油情勢と輸入原油の精製特性	海上保安大学校 名誉教授 小川勝	5
		522	5	3		事例史 エクソン・バルディーズ号流出油事故 -抄訳-	堀昭男	9
		523	3	4		アメリカ 海上防災訓練行脚 ログブック	海上災害防止センター 防災訓練所教官 萩原貴浩	6

第88号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
88	1996年1月	524	1	4	1	「油汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画」について	海上保安庁 海上防災課	7
		525	1	3	1	海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行規則等の一部改正について(解説)	海上防災課 葛西正記	5
		526	1	5	2	招聘事業「MAPP NOW95」の実施について 「開発途上国等における海洋汚染防止対策の推進」事業(北西太平洋海域の油汚染対応体制の構築)	海上災害防止センター	4
		527	1	4	5	流出油防除専門訓練コースの開設	海上災害防止センター 防災訓練所	2
		528	2	2	2	油防除資機材の運用について(連載記事) 第2回 機械的回収装置(SKIMMERS)	海上災害防止センター 部長代理 佐々木邦昭	17
		529	4	3		粉末油ゲル化剤について	海上保安庁 海上防災課	4
		530	3	4		「MARPOL CEBU95」に参加して	海上保安庁 海上防災課 廣田明彦	5
		531	5	2	1	貨物船H号のC重油流出事故	海上災害防止センター 防災部長代理 佐々木邦昭	7

第89号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
89	1996年4月	532	1	4	5	海上災害防止センターの業務追加について	海上災害防止センター	2
		533	3	4		海上防災訓練の充実強化	海上災害防止センター 防 災 部	3
		534	1	1	0	新化学消防船「おおたき」就役	海上災害防止センター 防 災 部	2
		535	1	9		海上災害防止センターの旗の制式について	海上災害防止センター	1
		536	4	2	2	油防除資機材の運用について(連載記事 第3回 油吸着材)(sorbents)	海上災害防止センター 防災部長代理 佐々木 邦昭	15
		537	2	4	1	エストニア号転覆事故とそれに伴う安 全対策について	船舶技術研究所 渡 辺 巖	9
		538	4	2	2	エアポンプ使用による油導入浮枠の回収 実験	㈱ダイトコーポレーション 千葉支店 防災課 坂 本 由 之	5

第90号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
90	90号は特別特集号							

第91号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
91	91号は特別特集号							

第92号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
92	1997年1月	539	1	3	1	国連海洋法条約の締結に伴う海防法等の 改正について	海上保安庁 海上環境課 企画係	6
		540	1	5	2	日韓海洋汚染防除専門家会議及び日口海洋 汚染防除専門家会議の開催について	海上保安庁 海上防災課 廣田 明彦	2
		541	6			随想「油雑感」	海上保安庁 海上防災課 坂場 正保	3
		542	2	2	5	高粘度油用油処理剤の公開試験について	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	14
		543	3	4		油防除に国境なし	海上災害防止センター 防 災 訓 練 所 教官 萩原 貴浩	12
		544	6			寄稿「ぼや騒動」	相 良 武 司	3

第93号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
93	1997年3月	545	1	1	2	「ナホトカ」号の事故の渦中において	海上災害防止センター 理事長 茅根 滋男	4
		546	5	2	1	「ナホトカ」号大規模流出油事故の概要	海上災害防止センター 防 災 部	10
		547	2	4	2	「ナホトカ」号積載重油の品質について	海上保安大学校名誉 教授 小 川 勝	6
		548	4	2	2	油処理剤の効用	元 東京大学教授 農学博士 徳 田 拓 士	3
		549	1	4	3	油防除作業の費用請求について	海上災害防止センター 理事 吉 田 征 夫	4
		550	3	2		「ナホトカ」号の防除作業に参加して	防災訓練所教官 山 口 和 孝	7
		551	3	2		寄稿「ナホトカ」号の流出油回収作業 に従事して	福井石油備蓄(株)油回 収船「あすわ」船長 宮 下 豊 和	2
		552	3	2		寄稿 若狭湾油回収奮闘記	白島石油備蓄(株)油回 収兼消防艇 ”はくりゆう”船長 西 原 豊 成	1
		553	3	2		寄稿 油回収作業を終えて	むつ小川原石油備蓄 (株)バースマスター 渡 部 徳 雄	1
		554	3	2		阪神から三国へ—NPO活動の新たな 1ページ— 重油災害ボランティア活動 の1カ月を振り返って	日本財団ボランティア 支援部 事業企画課 課長代理 黒 沢 司	2
555	3	2		油処理剤と「ナホトカ」号事故	海上災害防止センター 調査研究室 藤 井 孝	18		
556	2	2	5	平成9年度調査研究事業について (資機材の性能の再評価)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	3		

第94号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
94	1997年7月	557	3	2		海上自衛隊の実施した「ナホトカ」号流出 油回収作業	防衛庁海上幕僚監部 広 報 室	6
		558	3	2		ロシアタンカー重油流出事故災害派遣 参加所見	陸上自衛隊第14普通科 連隊第3中隊長 三等陸佐 松 島 陽 二	3
		559	3	2		「ロシアタンカー重油流出事故」災害派 遣に参加して	陸上自衛隊第3特科 連隊第5大隊第10中隊 二 等 陸 尉 高 橋 幹 春	1
		560	3	2		富山湾におけるナホトカ号流出油への 対応について	前伏木海上保安部長 野 網 仁	9
		561	3	2		ナホトカ号油流出事故を顧みて	釧路海上保安部 巡視船だいおう 首席 航海士 大 長 卓	5
		562	3	2		N号油災害奮闘記(福井県N号災害対策本部の 対応状況)	福井県消防防災課長 中 山 茂 雄	9
		563	3	2		「ナホトカ」号からの重油流出に対する 原子力発電所での対策について	関西電力(株)原子力 火力本部 原子力発電 課長 木 村 仁	9
		564	3	2		コンクリートポンプ車を利用した流出油 回収方法	五 洋 建 設 (株) 新 宅 嘉 信	18
		565	3	2		ロシアタンカー「ナホトカ」船首部撤去について	深田サルベージ建設 (株) 大 阪 支 店 吉 田 哲 郎	3

第95号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
95	1997年10月	566	1	1	0	「ナホトカ号特集号」を終えるに当り	海上災害防止センター 理事長 茅 根 滋 男	5
		567	1	5	0	「流出油防除体制総合検討委員会の中間報告」について	運輸省運輸政策局 環境・海洋課海洋室	9
		568	2	4	1	「ナホトカ号」事故原因調査結果及び事故再発防止対策	運輸省海上技術安全局 安全基準課長 矢 部 哲	9
		569	1	5	0	「ナホトカ号」船尾部残存油対策検討委員会報告書について	運輸省運輸政策局技術 安 全 課	5
		570	1	5	2	流油出油事故に関する二つの国際会議について	海上災害防止センター 鈴 木 淑 夫	24
		571	3	2		ナホトカ号流出重油処理について	近畿環境興産(株) 九州支店 関 正 明	2
		572	1	5	2	NOWPAP第1回フォーラムの開催について	海上災害防止センター 理事 吉 田 征 夫	3

第96号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
96	1998年1月	573	5	2	1	ダイヤモンドグレース号原油流出事故の対応	第三管区海上保安本部 警備救難部 救難課 坂 本 茂 宏	11
		574	5	3		シンガポール重油流出災害国際緊急援助隊派遣に参加して	第三管区海上保安本部 機動防除隊長 松 村 信 之	8
		575	1	4	0	国際緊急援助隊について	海上保安庁総務部 国 際 課	5
		576	1	4	2	「大規模油流出事故への即応体制検討報告書」について(その1)	海上保安庁警備救難部 海 上 防 災 課	12
		577	4	3		海外における油防除資機材等の現状調査について	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	5
		578	1	2	1	船舶からの大気汚染の防止に関するMARPOL73/78条約の改正について平成9年度ODA	海上保安庁警備救難部 海 上 環 境 課	3
		579	3	4		—海上防災対策協力事業現地調査報告— —珍道中日記— タイ・マレーシア編	海上災害防止センター 防 災 訓 練 所 教官 萩 原 貴 浩	10

第97号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
97	1998年4月	580	1	4	3	国際油濁補償基金のクレーム処理について	内閣安全保障室 内閣審議官 大須賀 英郎	7
		581	1	2	0	最近の海上防災に係る国際的な動向について	海上保安庁警備救難部 海 上 防 災 課 国際係 神 崎 和 徳	9
		582	1	4	2	「大規模油流出事故への即応体制検討報告書」について(その2)	海上保安庁警備救難部 海 上 防 災 課	10
		583	3	4		平成9年度ODA—海上防災対策協力事業実施報告— 横須賀における外国人研修編—	海上災害防止センター 防 災 訓 練 所 教官 木 本 弘 之	6
		584	2	2	2	油防除資機材の性能の評価及び再評価に関する調査研究	海上災害防止センター 調 査 研 究 室	5
		585	4	3		外洋型大型油回収装置:トランスレックシステム	海上災害防止センター プロジェクトチーム	9

第98号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
98	1998年7月	586	1	3	1	海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律の一部改正について	海上保安庁警備救難部 海上防災課 田代 聡	4
		587	5	1	0	平成9年の海洋汚染の現状	海上保安庁警備救難部 海上防災課	2
		588	3	4		日、米、口合同流出油防除総合訓練参加について	海上保安庁警備救難部 海上防災課 国際係長 木下 秀 樹	8
		589	5	2	2	LPGタンカーの衝突海難事故について	鹿児島海上保安部 次長 江 口 繁 廣	9
		590	1	1	0	新消防訓練施設の完成について	海上災害防止センター 防災訓練所	8

第99号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
99	1998年10月	591	1	4	0	SOSからGMDSSへ	海上保安庁警備救難部 情報通信管理課	3
		592	2	1	4	沿岸海域海洋環境保全情報の整備事業について	海上保安庁水路部海洋 情報課 沿岸域海洋 情報管理室 主任沿岸情報官 長谷川 秀巳	5
		593	5	2	1	犬吠埼沖ケミカルタンカー「第5山菱丸」 衝突・油流出事故の対応について	第三管区海上保安本部 警備救難部 救難課 海上災害対策室	5
		594	5	3		第5山菱丸油流出事故への対応	千葉県総務部 消防 防災課 石油コンビナート 防災係長 関 登志彦	8
		595	4	3		米国・カナダの油防除資機材等の現 状調査	海上災害防止センター 調査研究室	12
		596	3	4		油回収浮枠及び油回収ネットの防除 実務研修会について	(株)ダイトコーポレーション 千葉支店 防災課 坂 本 由 之	9
		597	6			ナホトカ号 油流出事故後日談ガンバレ 日本海(支援ツアーに参加して)	海上災害防止センター 理事 大 西 章 敬	2

第100号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
100	1999年1月	598	1	5	1	油濁基金総会・理事会に出席して	運輸省海上交通局総 務課 油濁補償対策官 澤 井 俊	6
		599	5	2	1	江差沖衝突海難 軽油260 流出事故 (砕氷型小型漁船と油タンカーの衝突)	江差海上保安署次長 佐 藤 司	5
		600	2	4	2	油による海洋汚染について(1)	海上災害防止センター 防災訓練所長 佐々木 邦昭	9
		601	4	3		強力吸引車等の油回収システムについて	海上防災事業者協会 調 査 研 究 会	36

第101号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
101	1999年4月	602	1	4	1	国家的緊急時計画の改定等について	海上保安庁警備救難部 海上防災課企画係 荒川直秀	3
		603	3	4		大型油回収装置等運用訓練の実施について	海上保安庁警備救難部 海上防災課防災対策官 小田茂司 横浜機動防除基地 主任 防除措置官 松田毅	10
		604	3	4		大型油回収装置トランスレックシステムの 操作、運用について	日本サルヴェージ(株)技師 高瀬隆雄	7
		605	5	2	1	DIOSA ISABELA油排出事故の概要	海上災害防止センター 防災部業務課業務係長 畠山龍雄	4
		606	1	5	2	カスピ海における流出油防除、準備及び 対応に関するワークショップ」に参加して (その1)	海上災害防止センター 調査研究室主任調査 研究員 木本弘之	11
		607	5	3		海外事情 1998年油汚染の総括 1998年有害液体物質事故への対応	海上防災事業者協会	4
		608	4	3		高粘度油用油処理剤のD-1128製品 化について	流出油処理剤懇話会	2

第102号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
102	1999年7月	609	1	4	1	地域防災計画の改訂と地方自治体の役割	福井県県民生活部 消防防災課防災対策 グループ	10
		610	1	5	2	1999国際油流出会議から —化学剤・生物修復法を中心に—	元 東京大学教授 徳田 拓士	10
		611	2	2	2	油防除資機材の性能の評価及び再評 価に関する調査研究 (その1)	海上災害防止センター 調 査 研 究 室 主任調査研究員 神原昌彦 主任調査研究員 前村伸二	8
		612	5	2	1	コンテナ船雷鳥丸排出油事故の概要	海上災害防止センター 防災部 業務係長 白石浩一	5
		613	1	5	2	「カスピ海における流出油防除、準備 及び対応に関するワークショップ」に参 加して (その2) —カサフスタン紀行—	海上災害防止センター 防災部 業務課課長 代理 木本弘之	11
		614	7			海外事情	海上防災事業者協会	2

第103号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
103	1999年10月	615	1	1	0	「えっ、海ってそんなに危ないの」 —就任にあたって—	海上保安庁警備救難部 海上防災課長 野間清二	1
		616	1	4	1	地域防災計画における「大規模事故 編」の新設について —「油等海上流出 災害対策計画」の概要—	千葉県総務部 消防 防災課 石油コンビナート 防災班	7
		617	1	2	3	OPRC条約の有害危険物質への対象 範囲拡大について	海上保安庁警備救難部 海上防災課 専門官 織田陽一	15
		618	5	3		シーキャプテン火災事故と教訓	第三管区海上保安本部 警備救難部救難課 海上災害対策室長 柏崎喜重	7
		619	1	4	5	東京湾における消防船の運用	海上災害防止センター 防災部部長代理 山田力	9
		620	1	5	2	国際油濁防除会議から(写真紹介)		2
		621	7			海外事情	海上防災事業者協会	4

第104号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
104	2000年1月	622	1	1	2	海洋環境の保全と海上防災 —海上保安の現況から—	海上保安庁 警備救難部海上防災課	7
		623	1	1	0	環境庁の油汚染対策に関する最近の動向	環境庁水質保全局企画課 海洋環境・廃棄物対策室 審査係長 溝口直樹	5
		624	2	1	2	ダブルハルトンカーによる汚染防止と海洋汚染	運輸省船舶技術研究所 山口勝治	11
		625	2	3	1	サハリン海洋油田開発に伴う防災対策の推進	海上災害防止センター 防 災 部	4
		626	5	2	1	豊晴丸油排出事故	海上災害防止センター 防災部長 佐々木 邦昭	11
		627	5	2	1	船体真つ二つ、大量油流出 タンカーERIKA 船体折損事故(速報)	編 集 部	2
		628	7			海外事情	海上防災事業者協会	4

第105号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
105	2000年4月	629	1	4	3	ナホトカ号油流出事故における 油濁損害賠償等請求事件に係る訴訟の提起	海上災害防止センター 防災部業務課長 大岩靖明	8
		630	1	1	0	再びナホトカ号級の事故が発生したとき	海上災害防止センター 理事 坂正直	12
		631	2	4	1	官民消防船の消防活動における諸問題	元第七管区 海上保安 本部長 土屋 彬	12
		632	2	3	1	平成11年度ODA —海上防災対策協力事業現地調査報告— —珍道中日記Ⅱ—インド、スリ・ランカ、モルディヴ 研修事業編	海上災害防止センター 防災訓練所教官 萩原貴浩	10
		633	2	1	2	シアン化合物の環境汚染対策	海上保安大学校 教授 古室 雅義	4
		634	3	4		平成11年度海上防災訓練の実施状況	海上災害防止センター 防災部業務課	5

第106号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
106	2000年7月	635	1	4	1	油流出事故に対する水産庁の対応について	水産庁資源生産推進部 漁場資源課 課長補佐 上野 弘道 水産庁 日本海区水産研究所 日本海海洋環境部長 黒田 一紀	11
		636	2	1	4	リモートセンシングの研究開発	運輸省船舶技術研究所 装備部長 山岸 進	11
		637	2	3	1	「アラスカで開催された 国際油と氷に関するワークショップ」に参加して	海上災害防止センター 防災部 木本 弘之	12
		638	5	2	1	ERIKA油汚染事故	編集委員会	7
		639	7			海外事情	編集委員会	1

第107号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
107	2000年10月	640	2	2	0	「油流出事故環境影響調査 のためのガイダンス」について	環境庁水質保全局企画課 海洋環境・廃棄物対策室 審査係長 溝口 直樹	4
		641	3	4		第2回日韓救難・防除訓練の実施について	海上保安庁警備救難部 海上防災課国際係 小林 正佳	4
		642	2	2	1	外国船は安全か？	神戸商船大学 教授 鈴木 三郎	17
		643	2	2	5	油濁事故における資機材の選定	海上災害防止センター 調査研究室 月野 良久	11
		644	3	4		「想定外事故に対応できますか？」 世界有数の消防及び 油防除訓練施設を誇る防災訓練所	海上災害防止センター 防災訓練所長 伊藤 豊彦	9
		645	5	1	1	鉱石運搬船Treasure号 沈没による油汚染事故	編集委員会	5

第108号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
108	2001年1月	646	1	1	2	海洋環境の保全と海上防災 —海上保安の現状から—	海上保安庁警備救難部 海上防災課	7
		647	1	5	2	流出油防除に関する世界的動向	元東京大学教授 徳田 拓士	11
		648	1	5	1	第45回海洋環境保護委員会(MEPC45)に 出席して	海上保安庁警備救難部 海上防災課 専門官 桶谷 光洋	8
		649	1	2	2	条約による油濁損害補償限度額の改正 ・・・エリカ号油濁事故の波紋・・・	石油海事協会専務理事 常木 徹	9
		650	1	4	2	「海上災害防止センターと韓国海洋汚染防除 組合との協力に関する覚書」 の締結について	海上災害防止センター 防災部 木本 弘之	6
		651	3	2		粘度差を利用した流出油回収バケットの開発	㈱西村組 高橋 伸次郎、米田 克幸 北日本港湾コンサルタント(株) 大塚 夏彦 北海道大学大学院 工学研究科 荻原 浩二 北海道大学大学院 教授 佐伯 浩	9
		652	4	1	2	スギ樹皮製油吸着材(SBS)の開発と実用化	大分県 産業科学技術センター 材料開発部 斉藤 雅樹	4

第109号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
109	2001年4月	653	1	5	3	日米コモンアジェンダ 第2回油流出対応作業部会	羅臼海上保安署長 上平 明	4
		654	1	5	3	プレスト(仏)で開催されたエリカ号セミナーに 参加して	国土交通省独立行政法人 海上技術安全研究所 装備部長 山岸 進	9
		655	3	2		油回収船の代替	海上災害防止センター 機材部 部長代理 十市 信雄	5
		656	2	2	5	油濁事故におけるガット船等の 活用に関する調査	海上防災事業者協会 調査研究会	13
		657	5	2	1	Westchester号原油流出事故		5
		658	5	2	3	有害危険物事故事例 —化学汚染マニュアル抜粋—		7

第110号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
110	2001年7月	659	3	4		大規模油流出事故対策机上訓練の実施	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3
		660	1	5	1	第46回海洋環境保護委員会(MEPC46) に出席して	海上災害防止センター 防災訓練所長 調査研究室長 小倉 秀	6
		661	1	2	2	油濁補償制度の動向	石油海事協会 専務理事 常木 徹	10
		662	2	2	0	油回収装置の性能試験法の開発	海上災害防止センター 調査研究室	5
		663	5	2	1	ERIKAにおける洋上(沖合・浅海域)の 油回収作業について	海上災害防止センター 防災部長 佐々木 邦昭	7
		664	5	2	1	(海外情報) 台湾南端における 鉱石船による燃料油流出事故		3
		665	5	2	1	(海外情報) ガラパゴス諸島で漏油事故が発生し 生態系を危険に晒す		6

第111号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
111	2001年10月	666	1	4	1	北海道における流出油事故災害対策の概要	北海道総務部 総合防災対策室 防災消防課 課長補佐 竹内 正樹	13
		667	1	4	1	サハリン油田事故への対応	紋別市総務部 企画調整課長 船木 哲夫	4
		668	3	4		大規模流出油事故対策訓練の実施	第一管区海上保安本部 警備救難部救難課 海上災害対策室長 村瀬 克史	6
		669	2	3	1	ベトナムにおける 地域緊急時計画策定支援事業	海上災害防止センター 防災訓練所次長 藤森 正仁	6
		670	5	2	9	TASMAN PIONEER 号浸水海難	宇和島海上保安部長 小田 茂司	6
		671	2	2	0	油分散剤の性能試験法の開発	海上災害防止センター 調査研究室	6
		672	7			(海外情報) 高粘度油回収ポンプシステムの開発		3
		673	5	2	1	(海外情報) 世界最大級の海洋油田リグ爆発沈没事故		3

第112号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
112	2002年1月	674	1	1	2	海上防災対策 —海上保安レポート2001から—	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5
		675	1	5	9	ICOPCE2001に参加して	海上災害防止センター 調査研究室 主任調査研究員 米川 弘晃	7
		676	2	1	5	寒冷海域における流出油の性状変化について	海上技術安全研究所 泉山 耕 上田 浩一 前田 利雄	7
		677	2	2	4	危険物事故への対応 その1 —危険物の概要、用語及び危険物事故 に関する評価について—	海上保安大学校 救難防災学講座 講師 梅津 隆弘	11
		678	2	4	1	新化学消防船「きよたき」就役	海上災害防止センター 防災部	7
		679	1	1	9	南海地震とこれに伴う津波について	高知海上保安部	7
		680	5	2	1	(海外情報) 第二次大戦時の沈没船から油漏洩		1
		681	7			(海外情報) Exxon Valdez号事故に関して追加賠償を模索		2

第113号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
113	2002年4月	682	1	4	1	沿岸海域環境保全情報整備事業と 沿岸域情報管理システム	前海上保安庁海洋情報部 海洋情報課 主任沿岸情報官 山崎 和仁	7
		683	2	4	4	危険物事故への対応(その2) —事故現場の管理及びコントロール—	海上保安大学校 救難防災学講座 講師 梅津 隆弘	15
		684	2	4	2	ケミカルタンカーイエボリ・サン(Ievoli Sun)号の 海難に関するフランスの対応について	海上災害防止センター 総務部総務課長 木本 弘之	11
		685	3	4		テキサスA&M大学「海上流出油対応コース」 及び「上級海上消防訓練コース」を受講して	海上災害防止センター 総務部総務課長 木本 弘之	13
		686	7			海外情報	編集委員会	4

第114号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
114	2002年7月	687	1	4	1	東京湾再生への取り組み	海上保安庁警備救難部 環境防災課 環境対策第二係長 林王 弘道	5
		688	2	3	1	フィリピンの海上防災事情	海上技術安全研究所 環境・エネルギー研究領域 山口 勝治	12
		689	2	4	4	危険物事故への対応(その3) —戦略及び戦術—(その1)	海上保安大学校 救難防災学講座 講師 梅津 隆弘	17
		690	1	5	2	IMO関連会議出席報告と 油回収船の研究開発の紹介	海上技術安全研究所 海洋汚染 研究グループ長 原 正一	6
		691	7			海外情報	編集委員会	4

第115号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
115	2002年10月	692	2	1	0	イベントツリー手法による事故発生頻度の評価 (衝突事故)	独立行政法人 海上技術安全研究所 海上安全研究領域長 松岡 猛	11
		693	2	2	2	海上災害防止センター研究成果報告会の開催 -油及びHNS流出事故対応のための 防除技術の研究開発-	海上災害防止センター 調査研究室 主任調査研究員 福士 久人	13
		694	2	4	4	危険物事故への対応(その4) -戦略及び戦術-(その2)	海上保安大学校 救難防災学講座 講師 梅津 隆弘	23
		695	5	2	3	危険物事故の教訓(1) SO2ガス噴出事故 (事故発見時、ガスの種類、原因物質などが不明)	キソー化学工業株式会社 会長 児玉 きよ子	7
		696	7			海外情報	編集委員会	5

第116号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
116	2003年1月	697	1	3	1	海上災害防止センターの独立法人化に係る海洋汚 染及び海上災害の防止に関する法律の一部改正	海上保安庁警備救難部 環境防災課	4
		698				国際油濁補償制度の進展	石油海事協会 専務理事 常木 徹	8
		699	2	1	0	イベント手法による事故発生頻度の評価 (座礁・乗り揚げ事故)	独立行政法人 海上技術安全研究所 海上安全研究領域長 松岡 猛	8
		700	2	4	4	危険物事故への対応(その6)	海上保安大学校 救難防災学講座 講師 梅津 隆弘	19
		701	5	2	3	危険物事故の教訓(2)	キソー化学工業株式会社 会長 児玉きよ子	4
		702	7			海外情報	編集委員会	2

第117号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
117	2003年4月	703	1	1	2	海上防災対策—海上保安レポート2002から—	海上保安庁警備救難部 環境防災課	4
		704	1	4	3	油濁損害の防除措置費用についての補償	小川総合法律事務所 弁護士 小川洋一	7
		705	5	2	0	平成14年度の防災措置業務を振り返って —珍道中日記Ⅲ—	海上災害防止センター 防災部業務課 萩原貴浩	14
		706	2	3	1	ミャンマー・カンボジア海洋汚染防除体制 事前調査報告	海上災害防止センター 防災訓練所 岡林 利幸	14
		707	2	4	4	危険物事故への対応(その6) —除染(その2)及び終了—	海上保安大学校 救難防災学講座 講師 梅津 隆弘	8
		708	5	2	3	危険物事故の教訓(3)	キソー化学工業株式会社 会長 児玉 きよ子	8
		709	7			海外情報	編集委員会	3

第118号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
118	2003年7月	710	1	2	3	ケミカルスピルに対する国際的動向について	海上保安庁警備救難部 環境防災課専門官鈴木長之	17
		711	5	3		ナホトカ号の和解及び海上災害防止センターの 和解交渉経緯について	海上災害防止センター 総務部総務課長木本弘之	5
		712	1	5	2	2003international oil spill conferenceに 参加して	海上技術安全研究所 環境・エネルギー領域 海洋汚染防止研究グループ 山口 良隆	8
		713	5	3		海上災害の防除措置	海上災害防止センター 防災部業務課 萩原貴浩	14
		714	5	2	3	危険物事故の教訓(4)	キソー化学工業株式会社 会長 児玉きよ子	8
		715	7			海外情報	編集委員会	3

第119号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
119	2003年11月	716	1	4	4	独立行政法人海上災害防止センターの 設立経緯	海上災害防止センター 理事 栗原 敏尚	13
		717	1	4	1	独立行政法人海上災害防止センター中期計画	海上災害防止センター	6
		718	1	4	1	独立行政法人海上災害防止センター 平成15年度計画	海上災害防止センター	7
		719	2	1	0	イベント手法による事故発生頻度の評価 (転覆・沈没・浸水事故)	独立行政法人 海上技術安全研究所 海上安全研究領域長 松岡 猛	8
		720	1	1	2	米国コスタガードによる水際セキュリティの実践 その1コンテナインスペクションプログラム	東京海洋大学海洋工学部 助教授 渡邊 豊	6
		721	2	4	0	認可法人海上災害防止センター27年の軌跡	編集委員会	13
		722	5	2	3	危険物事故の教訓(5) ー有機過酸化化物積載貨物船爆発炎上事故ー	キソー化学工業株式会社 代表取締役 児玉 正浩 海洋汚染防止研究グループ 山口 良隆	6

第120号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
120	2004年1月	723	1	1	2	海上防災対策 ー海上保安レポート2003からー	海上保安庁環境防災課	4
		724	1	2	0	油汚染防止に関する最新国際動向について	海上保安庁環境防災課 専門官 鈴木長之	15
		725	2	1	4	米国コスタガードによる水際セキュリティの実践 その2 SPEリスクアセスメントモデル	東京海洋大学海洋工学部 助教授 渡邊 豊	6
		726	2	3	1	台湾の海上防災事情	海上災害防止センター 防災部長 佐々木邦昭	7
		727	1	5	2	オーシャンズ2003に出席して ー杉樹皮製油吸着材の微生物分解処理技術ー	海上災害防止センター 主任調査研究員 福士久人	8
		728	5	2	3	危険物事故の教訓(6) ーフェロシオン死亡事故ー	キソー化学工業株式会社 代表取締役 児玉 正浩	7

第121号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
121	2004年4月	729	1	4	1	フランスPOLMAR計画とセドレ(GEDRE) ーその1 海洋汚染防除体制ー	(社)日本造船研究協会 調査役 山岸 進	6
		730	2	1	4	米国コーストガードによる水際セキュリティの実践 その3 SPEリスクアセスメントモデルの確立論的応用	東京海洋大学海洋工学部 助教授 渡邊 豊	6
		731	2	2	4	ケミカルタンカー輸送貨物から発生する有害ガス への曝露と健康影響	海上技術安全研究所 環境・エネルギー領域 山口勝治・間島隆博	10
		732	1	4	4	機動防除隊と海上災害防止センター	前横浜機動防除基地 主任防除措置官 池田耕治	9
		733	1	4	5	海上防災訓練と国際協力推進業務	海上災害防止センター 防災訓練所 岡林 利幸	8
		734	2	3	1	タイ国の流出油防除体制について	海上災害防止センター 防災訓練所 河原木 一	7
		735	5	2	3	危険物事故の教訓(7) ーベンゼンタンカー、ナフサタンカー爆発事故ー	キソー化学工業株式会社 代表取締役 児玉 正浩	6

第122号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
122	2004年7月	736	1	3	2	放置座礁船舶対策の概要	国土交通省海事局総務課 課長補佐 武田 一寧	7
		737	1	4	1	フランスPOLMAR計画とセドレ ーその2 セドレの活動ー	(社)日本造船研究協会 調査役 山岸 進	8
		738	1	1	1	米国コーストガードによる水際セキュリティの実践 最終回 改正SOLAS条約のISPSCodeについて	東京海洋大学海洋工学部 助教授 渡邊 豊	5
		739	5	2	3	危険物事故の教訓(8) ーエチルメルカプタン漏洩事故ー	キソー化学工業株式会社 代表取締役 児玉 正浩	6
		740	3	3		協会セミナー 海上火災への対応 ータンク火災消火の教訓を海上火災に活かすー	海上災害防止センター 防災部業務課長 萩原貴浩	11
		741	7			海外情報	編集委員会	3
		742	6			随想 リーダーの資質	海上災害防止センター 理事 栗原 敏尚	4

第123号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
123	2004年11月	743	1	1	2	海上保安レポート2004「海上防災対策編」の概要	海上保安庁環境防災課	3
		744	1	4	1	(独)海上災害防止センター平成16年度事業計画	海上災害防止センター	6
		745	1	1	0	大都市圏の「海」の再生の推進 ー東京湾・大阪湾再生プロジェクトー	海上保安庁環境防災課	6
		746	3	9		油濁事故とサルベージ	日本サルヴェージ株式会社 サルベージ業務部長 西部好昭	7
		747	5	2	3	危険物事故の教訓(9) ー毒性を持つ化学物質の漏洩事故による 健康被害を生じた2例ー	キソー化学工業株式会社 代表取締役 児玉 正浩	8
		748	3	1		マレーシア国における地域緊急時計画策定支援業務 と流出油防除体制	海上災害防止センター 防災訓練所 畠山 龍雄	11
		749	7			海外情報	編集委員会	5

第124号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
124	2005年1月	750	1	5	1	IMO第2回OPRC/OPRC-HNS技術部会等報告	海上保安庁環境防災課 課長補佐 中村 博道	11
		751	2	4	9	油回収実海域再現水槽と今後の研究開発	(独)港湾空港技術研究所 施工・制御技術部吉江宗生	10
		752	3	2		沈船からの油抜き取り	日本サルヴェージ株式会社 サルベージ業務部長西部好昭	6
		753	2	4	9	沈没船からの残存油回収システムの開発	(独)海上技術安全研究所 環境・エネルギー領域 山口勝治 原正一	9
		754	5	2	3	危険物事故の教訓(10) -発煙硫酸漏洩事故-	キソー化学工業株式会社 代表取締役 児玉 正浩	6
		755				海外情報	編集委員会	4
		756	3	4		平成17年度海上防災訓練計画について	海上災害防止センター 防災訓練所	3
		757	6			随想 -ゴミの減量作戦と英国体験-	海上災害防止センター 理事 増田 恵	3

第125号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
125	2005年4月	758	1	3	2	船舶油濁損害賠償保障法施行規則について	国土交通省海事局総務課 海事保安・事故保障対策室 野口 毅	7
		759	1	4	1	北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)の現状	海上保安庁 警備救難部 環境防災課	5
		760	1	5	2	サハリンプロジェクトシンポジウム等の開催	海上保安庁 警備救難部 環境防災課	9
		761	2	4	0	油濁事故とスコピック条項	日本サルヴェージ(株) サルベージ業務部長 西部 好昭	7
		762	3	4		テキサスA&M大学消防訓練コースを受講して	(独)海上災害防止センター 防災部業務係長 清野 成直	17
		763	5	2	3	危険物事故の教訓(11) -座礁事故後に起きた穀物船での 高濃度硫化水素発生による中毒死亡事故-	キソー化学工業(株) 代表取締役 児玉 正浩	6
		764				海外情報	編集委員会	3
		765	6			随想	海上保安庁 装備技術部 管理課 技術管理官 徳永 裕之	2

第126号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
126	2005年7月	766	1	1	9	機動防除隊発足10周年記念特集	横浜機動防除基地	42
		767	1	5	1	国際油流出会議(IOSC2005)に出席して	(独)海上技術安全研究所 海洋汚染グループ長 原 正一	5
		768	6			随想「海坊主のひとりごと」	海上保安庁 警備救難部 環境防災課 工藤 健太郎	9

第127号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
127	2005年10月	769	1	1	9	海上保安レポート2005 「海上防災対策編」の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3
		770	1	5	1	IMO第3回OPRC-HNS技術部会報告	海上保安庁警備救難部 環境防災課 塩入 隆志	5
		771	1	1	0	有害危険物質排出事故への対応体制の 充実について(前編)	海上保安庁警備救難部 環境防災課 上野 春一郎	6
		772	3	4		日本・フィリピン・インドネシア 三国合同流出油総合訓練の開催について	海上保安庁 警備救難部 環境防災課 上田 修	3
		773	5	2	3	危険物事故の教訓(12) ー放射性物質に関わる事故ー	キソー化学工業株式会社 代表取締役 児玉 正浩	3
		774	1	1	3	日本沿岸域学会平成17年度全国大会 「ナホトカ号特別セッション」と地元「学」との関わり	星陵女子短期大学 助教授 沢野 伸浩	10
		775	9			海外情報	編集委員会	3
		776	4	1	2	高圧水ジェット式小型油回収機の開発	国土交通省四国地方整備局 高松港湾空港技術事務所	4
		777	3	4		テキサスA&M大学 消防訓練等を受講して(2)	(独)海上災害防止センター 防災部業務課 清野 成直	13

第128号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
128	2006年1月	778	1	1	0	有害危険物質排出事故への 対応体制の充実について(後編)	海上保安庁警備救難部 環境防災課 企画係長 上野 春一郎	8
		779	2	2	2	「流出油事故対応マニュアル」について	(独)海上災害防止センター 調査研究室長 木本 弘之	7
		780	2	2	4	「HNS流出事故への対応」について	(独)海上災害防止センター 防災訓練所長 小倉 秀	8
		781	2	3	1	米国NOAAでの油流出対策とリスク評価 ー沈船の潜在的危険性ー	(独)海上技術安全研究所 環境エネルギー研究領域 海洋汚染防止研究グループ 黒田 貴子	6
		782	5	2	9	危険物事故の教訓(13) ー色々な事故ー	キソー化学工業株式会社 代表取締役 児玉 正浩	8
		783	2	4	9	Ceis Net(沿岸海域保全情報)と ESI情報の整備について	海上保安庁海洋情報部 海洋情報課 主任沿岸情報官 日根 実	9
		784	5	1	9	海洋ゴミの現状と国際的な取り組み	海上保安庁警備救難部 環境防災課 課長補佐 藤井 伸弘	4
		785	3	4		平成18年度海上防災訓練実施計画について	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	3
		786	6			随想ー海坊主のひとりごと(その2)	海上保安庁警備救難部 環境防災課 課長補佐 工藤 健太郎	3

第129号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
129	2006年4月	787	1	5	3	有害危険物質による汚染事件への準備及び対応に関する専門家会合について	海上保安庁警備救難部 環境防災課 国際班	5
		788	4	1	2	「油分散剤の効果的な散布方法」について	(独)海上災害防止センター 調査研究室 主任調査研究員 出戸 雅之	9
		789	2	2	2	「杉樹皮製油吸着材の微生物分解処理技術の実用化」について	大分県産業科学技術センター 主任研究員 齊藤 雅樹	8
		790	5	2	1	平成16・17年度の防災措置業務を振り返って － 珍道中日記IV －	(独)海上災害防止センター 防災部 業務課長 萩原 貴浩	11
		791	5	2	2	事例紹介／SUN－VENUS号爆発事故	横浜機動防除基地 主任防除措置官 島瀬 勇二	6
		792	5	2	3	危険物事故の教訓(14) －塩素酸ナトリウムによる発火事故－	キソー化学工業株式会社 代表取締役 児玉 正浩	4
		793	5	2	1	海外情報 オーストラリアで発生した油濁事故	編集委員会	3
		794	6			随想 センターの3年間を振り返って	(独)海上災害防止センター 防災訓練所 主任教官 松田 毅	3

第130号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
130	2006年7月	795	1	3	1	OPRC－HNS議定書の実施のための海洋汚染防止法の一部改正について	海上保安庁警備救難部 環境防災課 企画係長 北原 政和	5
		796	1	9		日露合同油防除総合訓練の実施について	海上保安庁警備救難部 環境防災課 国際係長 樋口 則一	5
		797	1	5	1	INO第4回OPRC／OPRC－HNS技術部会報告	海上保安庁警備救難部 環境防災課 専門官 塩入 隆志	5
		798	3	4		フランスにおける実海域流出油演習「DEPOL」について	(独)海上技術安全研究所 運航・システム部門 研究員 篠野 雅彦 主任研究員 樋富 和夫	6
		799	3	4		JICA海上保安人材育成プロジェクトについて	海上保安庁警備救難部 環境防災課 国際係長 樋口 則一	6
		800	5	2	3	事例紹介 ケミカルタンカーのベンゼン中毒事故について	第三管区海上保安本部 横浜機動防除基地 主任防除措置官 畑中 知也	5
		801	5	2	1	プレステージ号での油回収船の活躍について	海上防災コンサルタント 佐々木 邦昭	3
		802	5	2	1	ミステリアス オイルスピル	編集委員会	2

第131号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
131	2006年10月	803	1	1	2	海上保安レポート2006「海上防災対策編」 の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3
		804	3	2		フィリピンへの国際緊急援助隊の派遣 について	海上保安庁警備救難部 環境防災課 専門官 塩入 隆志	6
		805	1	4	4	韓国海洋汚染防除組合について	(独)海上災害防止センター 防災部業務課 鎌田 忍	5
		806	5	2	2	事例紹介／ベンゼンタンカー「K丸」 衝突火災事故	第三管区海上保安本部 横浜機動防除基地 主任防除措置官 島瀬 勇二	6
		807	5	2	9	危険物事故の教訓(15)高圧ガスシリンダ 積載船の爆発火災事故	キソー化学工業株式会社 代表取締役 児玉 正治	7
		808	1	3	9	化学物質排出把握管理促進法の概要	編集委員会	1
		809	5	2	1	レバノン沿岸における大規模油汚濁事案について	編集委員会	2
		810	1	3	9	MSDS制度	編集委員会	2
		811	5	2	9	1年8ヶ月ぶりタンカー浮上	編集委員会	1

第132号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
132	2007年1月	812	1	1	3	HNS国内体制整備検討委員会の提言について	海上保安庁 警備救難部 環境防災課	7
		813	5	2	1	事例紹介／木材運搬船「ヘレナII」座礁事故	第三管区海上保安本部 横浜機動防除基地 主任防除措置官 島瀬 勇二	6
		814	5	2	1	青森県小泊岬の木材運搬船「ヘレナII」座礁 事故について	(財)漁場油濁被害救済基金 専務理事 櫻井 謙一	5
		815	1	5	2	最近の国際油濁会議について	海上防災コンサルタント 佐々木 邦昭	6
		816	7			2006年の油濁会議で発表された論文の紹介	海上防災コンサルタント 佐々木 邦昭	7
		817	3	1		衛星による流出油の監視	編集委員会	7
		818	4	2	9	ビーチクリーナーを使用した海岸清掃	編集委員会	3
		819	3	4		平成19年度海上防災訓練実施計画について	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	3
		820	1	1	1	職長教育について	編集委員会	2

第133号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
133	2007年4月	821	1	3	1	OPRC-HNS議定書の実施のための海洋汚染防止法施行規則の一部改正について	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5
		822	1	4	0	排出油防除資材の備え付け数量の改正について	(独)海上災害防止センター 調査研究室	2
		823	2	1	3	タンカー火災の消火に関する調査研究	(独)海上災害防止センター 調査研究室長木本弘之	18
		824	9			ブラジルの海底油田開発と海上防災 衝突火災事故	海上技術安全研究所 海洋部門 深海技術研究グループ 前田克弥	6
		825	5	1	1	海洋汚染の現状(平成18年)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5
		826	1	1	3	流出油ボランティアの受け入れ	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	7
		827	7			海のボランティア団体「海守」について	編集委員会	2
		828	7			ボランティア活動保険について	編集委員会	2

第134号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
134	2007年7月	829	1	1	1	海上保安レポート2007「海上防災対策編」 の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	4
		830	3	4		油防除資機材慣熟訓練の実施	第三管区海上保安本部 警備救難部 環境防災課	3
		831	3	4		日印コーストガード連携訓練の実施について	海上保安庁警備救難部 環境防災課 国際係長武智敬司	4
		832	1	2	9	「2007年の海難残骸物の除去に関する ナイロビ国際条約」の採択	国土交通省海事局総務課 国際・危機管理室 課長補佐織田陽一	9
		833	5	3		大規模な油濁事故への漁業者の対応	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	8
		834	3	9		一口メモ 熱中症について	編集委員会	4
		835	2	2	3	「HNS防除手法について」 平成19年度事業者協会講演	(独)海上災害防止センター 調査研究室長 木本弘之	8
		836	1	2	9	海外情報 欧州、重油タンカーのダブルハル義務化へ	編集委員会	1

第135号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
135	2007年10月	837	3	4		インドネシアとの連携訓練等の実施について	海上保安庁警備救難部 環境防災課 国際係脇川祐樹	5
		838	1	5	2	SPILLCON 2007について	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	5
		839	5	2	3	事例紹介 スチレンモノマー船内漏洩事故	横浜機動防除基地 主任防除措置官 畑中知也	8
		840	1	3	1	海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律の 一部改正について 平成19年度事業者協会講演	海上保安庁警備救難部 環境防災課 専門官宮本勝通	5
		841	4	2	3	有害危険物質防除体制の整備における 調達資機材について	(独)海上災害防止センター 防災部業務課 業務係長清野成直	11
		842	1	3	3	【仮訳】2007年の海難残骸物の除去に関する ナイロビ国際条約	国土交通省海事局総務課 国際・危機管理室 課長補佐織田陽一	12
		843	5	2	1	海外情報 レバノン沿岸における大規模油濁事案について -その2-	編集委員会	1

第136号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
136	2008年1月	844	3	1		LPG/LNG輸送に係る防災対応と国際連携の 強化に関するフォーラムについて	海上保安庁警備救難部 環境防災課	4
		845	5	1	9	石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業 所における事故防止体制の充実強化について	消防庁特殊災害室	6
		846	5	2	1	海外情報 続発した大規模油濁事故の発生について 北海油田、サンフランシスコ湾、ケルチ海峡	編集委員会	20
		847	4	2	2	流出事故発生時、少人数による効果的即応	海上防災アドバイザー 相川海運産業(株) 顧問坂本由之	9
		848	3	4		平成20年度海上防災訓練実施計画について	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	3
		849	1	2	9	一口メモ GHSについて	編集委員会	6
		850	1	4	5	センターのページ 北海道における地域緊急時計画提言	(独)海上災害防止センター	6

第137号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
137	2008年4月	851	5	9		大韓民国への国際緊急援助隊の派遣について	海上保安庁警備救難部 環境防災課	4
		852	5	2	1	座談会 国際緊急援助隊に派遣されて	編集委員会	8
		853	5	1	0	海洋汚染の現状(平成19年1月~12月)	編集委員会	4
		854	1	4	1	「北海道北岸における流出油事故への準備及び 対応に関する地域緊急時計画」の策定について	(独)海上災害防止センター 調査研究室長木本弘之	6
		855	1	4	5	海上災害防止センターHNS事故対応支援等 ネットワークシステムの構築について	(独)海上災害防止センター 防災部業務課清野成直	6
		856	2	4	2	海外情報 サンフランシスコで発生したコンテナ船による 油濁事故(2)	編集委員会	6
		857	5	2	1	座礁船からの残油抜き取りについて	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	7
		858	1	4	5	センターのページ 第2期中期計画平成20年度計画	(独)海上災害防止センター	8

第138号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
138	2008年7月	859	1	1	1	海上保安レポート2008「事故災害対策編」の 概要	海上保安庁 警備救難部 環境防災課	5
		860	2	4	4	HNS防除手法について(その1)	(独)海上災害防止センター 調査研究室長 木本 弘之	7
		861	3	1		フィンランド湾における船舶交通の増大と 事故リスク低減の試み	星陵女子短期大学 沢野 伸浩	7
		862	1	5	2	第20回 国際油濁会議について	海上防災コンサルタント 佐々木 邦昭	8
		863	4	2	2	オイルスキミングネット(油回収ネット)について	海上防災アドバイザー 相川海運産業(株) 顧問 坂本 由之	11
		864	5	3		海外情報 エクソンバルデーズ号の懲罰的損害賠償について	編集委員会	2

第139号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
139	2008年10月	865	5	1	1	平成19年 第三管区海上保安本部管内の 海洋汚染状況	第三管区海上保安本部 警備救難部環境防災課	5
		866	3	1		沿岸海域における新たな安全対策 －AISを活用した航行支援システム－	海上保安庁 交通部企画課	8
		867	2	4	4	HNS防除手法について(その1)	(独)海上災害防止センター 調査研究室長木本弘之	8
		868	5	2	3	危険物事故の教訓(16) －コンテナ内で漏洩した硝酸による発火事故－	キソー化学工業株式会社 代表取締役児玉正浩	8
		869	5	2	1	海外情報 ミシシッピイの油流出事故	編集委員会	6
		870	3	4		HNS等防除訓練の実施について	(独)海上災害防止センター 防災部	6

第140号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
140	2009年1月	873	3	4		第2回NOWPAP油防除訓練	海上保安庁警備救難部 環境防災課 専門官関口澄夫	2
		874	2	4	4	HNS防除手法について(その3)	(独)海上災害防止センター 調査研究室長木本弘之	8
		875	5	1	9	平成19年、石油コンビナート等特別防災区域内 の特定事業における事故と事故防止について	消防庁特殊災害室	7
		876	3	4		JICA集団研修「海難救助海上防災コース」 について	海上保安庁警備救難部 環境防災課 国際係長岡大一郎	3
		877	3	4		平成21年度海上防災訓練実施計画について	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	3
		878	3	4		海外情報最近のサハリン事情について	編集委員会	5
		879	2	4	2	海外情報旧日本船舶からの油流出について	編集委員会	2
		880	9			未来に残そう青い海ボランティアチーム	未来に残そう青い海 ボランティアチーム事務局	3
		881	1	1	0	一口メモ 北極海の航行制限	編集委員会	1
		882	1	3	9	一口メモ MSDSについて	編集委員会	2

第141号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
141	2009年4月	883	5	1	1	海洋汚染の現状(平成20年1月～12月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5
		884	2	4	4	活性炭を使用したHNS濾過装置実験について	(独)海上災害防止センター 調査研究室長木本弘之	11
		885	5	2		オーストラリアで発生した油濁/ケミカル事故 について	編集委員会	5
		886	2	2	5	オイルフェンスの使用実例からの改良/試作 について	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	14
		887	2	2	5	オイルフェンス等取付け用スライディングジョイント について	海上防災アドバイザー 相川海運産業(株) 顧問坂本由之	11
		888	1	1	9	一口メモ 「あびき」	編集委員会	1
		889	5	2	1	…ちょっと気になるお話… ミステリアスオイルスピル(2)	編集委員会	1
		890	5	2		防災日誌(平成21年1月～3月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	4

第142号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
142	2009年7月	891	1	1	1	海上保安レポート2009「事故対策編」の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5
		892	2	1	0	危険物事故対応時のICSの導入について	海上保安大学校 海上安全学講座 梅津隆弘	12
		893	3	2		砂浜への油の漂着についてについて	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	7
		894	2	2	2	バイオマーカーによる原油等の分析について	海上保安庁総務部 海上保安試験研究センター 化学分析課専門官 滝優人	4
		895	3	1		危機管理について	(独)海上災害防止センター 防災訓練所 所長小倉秀	5
		896	2	1	4	流出油の性状等を考慮した漂流予測計算について	海上保安庁海洋情報部 環境調査課 漂流予測管理官 斉藤茂幸	5
		897	5	2		防災日誌(平成21年4月～6月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3
		898	5	1	1	平成20年第七管区海上保安本部管内の海洋汚染 の現況	第七管区海上保安本部 警備救難部環境防災課	5

第143号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
143	2009年10月	899	4	1	1	漁船搭載型油回収装置の研究開発について	(財)漁場油濁被害救済基金 中沢俊佑	10
		900	2	2	0	漂流ブイによる表層流観測について	(独)海上災害防止センター 調査研究室長木本弘之	12
		901	5	2	9	鹿島港におけるケミカルタンカー浸水沈没事故	第三管区海上保安本部 横浜機動防除基地 主任防除措置官谷山繁隆	5
		902	5	2	0	海外情報 ティモール海における油井暴噴事故	編集委員会	5
		903	2	9		浮体式多目的洋上基地ネットワーク構築の提案	(社)海洋産業研究会	8
		904	2	4	9	バラ積み液体化学品の物流と検査実施要領について	(財)新日本検定協会 常務理事生野剛	6
		905	5	2		防災日誌(平成21年7月～9月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	4
		906	1	1	0	一口メモ マニュアルの一般論	編集委員会	2

第144号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
144	2010年1月	907	4	2	2	ROLS(遠隔操縦揚荷装置)による本邦初の 油抜き取り	日本サルヴェージ(株)門司支店 サルベージ営業部長 下西助和	5
		908	3	3		「コンビナート火災マネジメントコース」の 新設について	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	8
		909	4	3		強力吸引車の課題と新機種について	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	4
		910	6			特集・珍道中日記V 国際緊急援助隊天皇皇后両陛下に拝謁	(独)海上災害防止センター 防災部部長代理 萩原貴浩	4
		911	1	5	1	海外情報第4回IMOR&DForumに出席して	(独)海上災害防止センター 調査研究室長 木本弘之	22
		912	5	2	1	油井の暴噴事故(ティモール海)続報	編集委員会	8
		913	3	4		平成22年度海上防災訓練実施計画について	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	4
		914	5	2	0	防災日誌(平成21年10月～12月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5

第145号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
145	2010年4月	915	5	1	2	海洋汚染の現状(平成21年1月～12月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5
		916	2	4	3	東京湾における大型LNG船の大型化に伴う安全対策について	東京ガス(株) 常任顧問 野一色修平	5
		917	1	4	3	国際油濁補償基金の最近の動向について (IOPC基金事務局長講演会より)	編集委員会	5
		918	5	2	1	熊野灘における座礁船からの 流出油防除について	横浜機動防除基地 主任防除措置官 谷山繁隆	4
		919	2	4		平成21年度 大規模海上災害対応合同机上訓練	第三管区海上保安本部 環境防災課長 中村信久	13
		920	2	4	4	HNS事故発生時の対応	キソー化学工業(株) 代表取締役 児玉正浩	7
		921	2	2	5	軽量フロートと可搬式スライディング ジョイント等について	海上防災アドバイザー 相川海運産業(株) 顧問坂本由之	9
		922	5	2	0	防災日誌(平成22年1月～3月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5

第146号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
146	2010年7月	923	5	3		海上保安レポート2010「事故対策編」の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	6
		924	1	1	2	危険物質及び有害物質の海上輸送に関する 損害についての責任並びに損害補償に関する 国際条約(HNS条約)について	国土交通省海事局総務課 油濁補償対策官 中橋享	5
		925	5	2	1	メキシコ湾における石油掘削施設爆発沈没 による大規模原油流出事故について	編集委員会	9
		926	5	2	1	米国で発生したタンカー衝突による原油流出事故	編集委員会	3
		927	1	5	2	国際油濁会議への参加について (SPILLCON2010オーストラリアメルボルン)	(独)海上災害防止センター 防災部 清野成直	12
		928	9			「海」からの発想	(独)海上災害防止センター 富賀見栄一	4
		929	4	2	2	油処理剤の正しい知識	(財)漁場油濁被害救済基金	5
		930	5	2	0	防災日誌(平成22年4月～6月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3

第147号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
147	2010年10月	931	3	4		NOWPAP日露合同油防除訓練& サハリンプロジェクトフォーラム	海上保安庁警備救難部 環境防災課	2
		932	5	3		メキシコ湾における石油掘削施設爆発、 大規模油流出事故について(続報)	編集委員会 海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	11
		933	2	3	1	メキシコ湾油流出事故現地調査報告について	(独)海上災害防止センター 防災部長萩原貴浩	10
		934	2	1	4	油防除支援ツールDOGの開発について	(独)海上技術安全研究所 上席研究員 城田英之他	12
		935	2	2	2	ダブルハルトankerにおけるボイルオーバーの 危険性について	(独)海上災害防止センター 調査研究室長 木本弘之	15
		936	3	4		海上災害セーフティサービス(MDSS)について	(独)海上災害防止センター 防災部	5
		937	7	5	2	防災日誌(平成22年6月~8月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3

第148号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
148	2011年1月	938	5	3		メキシコ湾における石油掘削施設爆発、 沈没による大規模原油流出事故について (続々報)	編集委員会 海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	9
		939	5	3		中国大連製油所爆発・油濁事故	編集委員会 海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	9
		940	2	3	1	米国クリーンガルフ会議及び防災資機材調査 について	(独)海上災害防止センター 防災部業務二課長 大森春生	8
		941	2	1	4	沈船データベースに基づく沈船ハザードマップの 開発について	(独)海上技術安全研究所 上席研究員 城田英之他	9
		942	2	2	2	ダブルハルトンカーにおけるボイルオーバーの 危険性について(その2)	(独)海上災害防止センター 調査研究室長 木本弘之	10
		943	3	4		テキサスA&M大学消防研修に参加して	(独)海上災害防止センター 防災部業務二課長代理 土谷厚志	5
		944	3	4		平成23年度海上防災訓練実施計画について	(独)海上災害防止センター 防災訓練所 又野良政	3
		945	7	5	2	防災日誌(平成22年9月～10月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	4

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
149	2011年4月	946	5	2	1	コスモ石油(株)千葉製油所タンク火災消火活動 について	(独)海上災害防止センター 防災部	2
		947	1	3	5	「大型タンカー及び大型タンカーバースの安全 対策について」の改正について	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3
		948	2	2	5	泡消火剤の性能比較試験結果について	(独)海上災害防止センター 調査研究室長 木本弘之	11
		949	5	1	1	海洋汚染の現状	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5
		950	3	4		東京湾における海上防災への取り組み について	第三管区海上保安本部 警備救難部環境防災課長 中村信久	12
		951	5	3		メキシコ湾油流出事故の技術的考察	(独)石油天然ガス・金属 鉱物資源機構(JOGMEC) 石油企画調査部上席研究員 伊原賢	13
		952	1	5	9	韓国海洋環境管理公団 海洋開発教育訓練院開所式への参列について	(独)海上災害防止センター 防災部業務二課課長代理 難波誠	3
		953	5	3		中城湾内でタンカーから燃料油流出	第十一管区海上保安本部 中城海上保安部	5
		954	9			会社紹介	上野マリン・サービス(株)	2
		955	7	5	2	防災日誌(平成23年1月～2月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3

第150号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
150	2011年7月	956	5	3		海上保安レポート2011「事故対策編」の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5
		957	2	1	4	バイオマーカーによる船舶用潤滑油の分析 について	海上保安庁総務部 海上保安試験研究センター 専門官滝優人	5
		958	3	1		流出油事故に伴う油汚染鳥の救護活動について	NPO法人 野生動物救護獣医師協会 皆川康雄箕輪多津男	9
		959	2	2	5	活性炭を使用した有害液体物質の濾過試験結果 について	(独)海上災害防止センター 調査研究室長 木本弘之	9
		960	9			会社紹介	伊勢湾防災(株)	2
		961	3	4		コンビナート火災コースの増設について	(独)海上災害防止センター 防災訓練所 又野良政	2
		962	7	5	2	防災日誌(平成23年3月～5月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3

第151号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
151	2011年10月	963	5	1	9	平成22年中の石油コンビナート等特別防災区域 内の特定事業所において発生した事故の概要	総務省消防庁特殊災害室 コンビナート保安係長 渡邊勉	7
		964	1	5	3	NOWPAPMERRAC会合の参加報告	(独)海上災害防止センター 防災部長 萩原貴浩	7
		965	2	4	9	Web-GISで見る「油防災関連情報」	海上保安庁海洋情報部 沿岸域海洋情報管理室	6
		966	5	2	9	東日本大震災復興支援	日本サルベージ(株) サルベージ業務部課長 森田謙一	8
		967	2	2	9	漂流物を追う	東京大学大気海洋研究所 教授道田豊	19
		968	5	3		中国渤海における油流出事故について	編集委員会	6
		969	9			会社紹介	(株)ダイソーコーポレーション	2
		970	5	2	0	防災日誌(平成23年6月～8月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3

第152号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
152	2012年1月	971	1	5	3	国際油濁会議(InternationalOilSpillConference) 2011に参加して	(独)海上災害防止センター 調査研究室主任研究員 濱田誠一	17
		972	3	4		2011年米国PREP演習に参加して	(独)海上災害防止センター 防災訓練所教官 山崎亮平	8
		973	5	3		ニュージーランド(NZ)で発生したコンテナ船 レナ(Rena)の座礁事故について	編集委員会	6
		974	2	2	5	「泡消火薬剤性能基準」の策定及び 消火性能試験結果について	(独)海上災害防止センター 調査研究室 後藤田理奈	12
		975	3	9		油汚染鳥救護への備え	環境省水鳥救護研修センター 鈴木麻衣	5
		976	9			会社紹介	大分臨海興業(株)	2
		977	3	4		平成24年度海上防災訓練概要の紹介	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	3
		978	5	2		防災日誌(平成23年9月～11月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	4

第153号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
153	2012年4月	979	5	1	1	海洋汚染の現状(平成23年1月～12月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	5
		980	5	1	1	最近の機動防除隊出動事例と海上災害の 発生状況について	第三管区海上保安本部 横浜機動防除基地	8
		981	3	4		平成23年度長崎県石油コンビナート等 総合防災訓練について	第七管区海上保安本部 警備救難部環境防災課	5
		982	2	1	4	流出重油・ガスの自動追尾システムの 確立と革新的海洋防災システムへの展開	大阪大学大学院 工学研究科 教授加藤直三	17
		983	5	3		原油滲出事故(ブラジル海洋油田)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	6
		984	5	3		ナイジェリアで頻発する暴噴等の事故	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	4
		985	9			会社紹介	西部マリン・サービス(株)	2
		986	5	2		防災日誌 (平成23年12月～平成24年2月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3

第154号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
154	2012年7月	987	5	1	1	海上保安レポート2012 「事故災害対策編」の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	6
		988	5	3		北海油田・ガス田の暴噴事故(eginoilspill)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	6
		989	5	3		メキシコ湾における石油掘削施設爆発・沈没 による大規模原油流出事故から2年を経過して	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	6
		990	5	2		Interspill2012参加報告	(独)海上災害防止センター 調査研究室主任調査研究員 濱田誠 防災部業務二課 緒形順治	14
		991	3	4		(独)海上災害防止センター防災訓練所における 防災訓練の紹介(その1)	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	8
		992	9			会社紹介	内海曳船(株)松山出張所	3
		993	5			防災日誌 (平成24年3月～平成24年5月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3

第155号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
155	2012年10月	994	1	3	1	「独立行政法人海上災害防止センター」の 民間法人化について	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1
		995	5	1	9	平成23年中の石油コンビナート等特別防災区域 内の特定事業所において発生した事故の概要	総務省消防庁特殊災害室	5
		996	1	5	2	北極圏・海洋汚染国際会議AMOPに参加して	(独)海上技術安全研究所 海洋環境評価系付 上席研究員原正一	9
		997	1	5	3	第3回海洋汚染事故対応に関する技術会議 グループ会合(RITAG)に参加して	(独)海上災害防止センター 防災部業務二課 河合恒治	7
		998	5	3		タンカーの落雷による爆発(マレーシア)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	4
		999	5	3		ベネズエラ石油精製施設の爆発/火災事故	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	5
		1000	2	9		”危機管理”の危機(その1)	(独)海上災害防止センター 防災部長萩原貴浩	17
		1001	3	4		(独)海上災害防止センター防災訓練所における 防災訓練の紹介(その2)	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	7
		1002	9			会社紹介	関西港湾サービス(株)	2
1003	5	2		防災日誌 (平成24年6月～平成24年8月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3		

第156号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
156	2013年1月	1004	5	3		機動防除隊出動300件を超えて	海上保安庁 横浜機動防除基地	13
		1005	3	1		地震・津波等災害発生時における 水難救済会の救援活動	公益社団法人日本水難救済会 常務理事上岡宣隆	3
		1006	5	2	3	有害危険物質(HNS)事故へ対応するに あたって危険の型を考える	キソー化学工業(株) 代表取締役児玉正浩	13
		1007	5	3		CuraçaoOilSpill	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	5
		1008	2	9		”危機管理”の危機(その2)	(独)海上災害防止センター 防災部長萩原貴浩	12
		1009	9			会社紹介	早駒運輸(株)	3
		1010	3	4		平成25年度海上防災訓練概要の紹介	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	4
		1011	5	2		防災日誌 (平成24年9月～平成24年11月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	2

第157号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
157	2013年4月	1012	5	1	1	海洋汚染の現状	海上保安庁警備救難部 環境防災課	6
		1013	3	1		大規模な流出油事故に備えて	石油連盟 基盤整備・油濁対策部長 加藤昌美	5
		1014	1	5	3	新規購入資機材の取扱い研修を目的とする 訪米について	(独)海上災害防止センター 防災部業務二課 垣本英臣	8
		1015	2	1	2	水と油を効率的に分離できる柔軟多孔性材料・ マシュマロゲル	京都大学大学院理学研究科 准教授中西和樹 助教金森主祥 博士後期課程早瀬元	4
		1016	5	3		アマゾン流域の油汚染と損害賠償	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	5
		1017	5	3		北極海の原油・ガス開発掘削リグの漂流・ 座礁事故について(アラスカ)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	6
		1018	9			会社紹介	(株)シーゲートコーポレーション	2
		1019	3	4		(独)海上災害防止センター防災訓練所における 防災訓練の紹介(その3)	(独)海上災害防止センター 防災訓練所	9
		1020	5	2		災日誌 (平成24年12月～平成25年2月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3

第158号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
158	2013年7月	1021	5	1	1	平成24年の海上保安庁における 事故災害対策の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3
		1022	1	4	5	「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律」 に定める「指定海上防災機関」の公募について	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1
		1023	1	3	9	油汚染鳥の野生復帰リハビリ専用プール 導入の意義について	環境省水鳥救護研修センター 鈴木麻衣	5
		1024	5	3		タールサンドオイルの流出事故について	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	9
		1025	2	9		尖閣諸島事案から観る中国の海洋戦略	IHI顧問(元横須賀地方総監) 荒川堯一	16
		1026	2	2	5	自然分解性吸着材の実証実験について	(独)海上災害防止センター 調査研究室主任調査研究員 濱田誠一	10
		1027	9			会社紹介	田中海運(株)	2
		1028	5	2		防災日誌 (平成25年3月～平成25年5月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	2

第159号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
159	2013年10月	1029	1	4	5	「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律」に定める「指定海上防災機関」の指定について	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1
		1030	5	1	9	平成24年中の石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所において発生した事故の概要	総務省消防庁特殊災害室	6
		1031	1	5	2	北極圏・海洋汚染国際会議AMOP2013参加報告と研究発表内容の紹介	(独)海上技術安全研究所 原正一ほか	12
		1032	2	1	2	エマルジョンを形成した流出油への対応技術～流動制御と分散処理	(独)港湾空港技術研究所 混相流体・油濁対策研究 チームリーダー 藤田勇	15
		1033	1	5	9	韓国海洋環境管理公団との業務協力協定に基づく情報交換及び人材交流並びにワークショップへの参加について	(一財)海上災害防止センター 防災部業務一課長 清野成直	3
		1034	5	3		列車事故に伴う原油流出爆発事故について	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	6
		1035	5	3		アマゾン川上流パイプライン破壊に伴う油汚染	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	2
		1036	5	3		金沢港沖パナマ籍貨物船乗り揚げ・重油流出事故対応について	(一財)海上災害防止センター 防災部業務二課長 大森春生	7
		1037	9			会社紹介	西日本海運(株)	2
1038	5	2		防災日誌 (平成25年6月～平成25年8月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1		

第160号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
160	2014年1月	1039	1	5	2	第4回RITAG(RegionalIndustryTechnical AdvisoryGroupMeeting)海洋汚染事故対応に 関する地域技術者協議会合に参加して	(一財)海上災害防止センター 調査研究室主任調査研究員 濱田誠一	10
		1040	1	5	3	中国「青島」で開催されたNOWPAP専門家会合 への出席について	(一財)海上災害防止センター 防災部課長代理 山崎亮平	5
		1041	9			「川崎みなと祭り」における東日本災害対応拠点 川崎基地の一般公開	(一財)海上災害防止センター 防災部 京浜地区エリアマネージャー 藤原政文	2
		1042	2	1	5	高い撥水性・撥油性を併せもつ新しい塊状多孔性 材料「マシュマロゲル」	京都大学大学院理学研究科 准教授中西和樹 助教金森主祥 博士後期課程早瀬元	4
		1043	3	4		テキサスA&M大学における「有害物質漏洩対応 訓練コース」及び「産業施設火災消火訓練コース」 他を受講して	(一財)海上災害防止センター 防災部垣本英臣 防災部緒形順治 防災訓練所後藤拓也	13
		1044	3	4		平成26年度海上防災訓練概要の紹介	(一財)海上災害防止センター 防災訓練所	4
		1045	5	3		タイ湾原油流出 中国石油パイプラインの連続事故 ベトナムで座礁貨物船から燃料油流出	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	11
		1046	9			会社紹介	山九(株)岩国支店	4
1047	5	2		防災日誌 (平成25年6月～平成25年8月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1		

第161号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
161	2014年4月	1048	5	1	1	海洋汚染の現状	海上保安庁警備救難部 環境防災課	6
		1049	5	2	1	平成25年12月海上保安庁から「国際緊急 専門家チーム(海上流出油防除)」をフィリピン 援助隊専門家チーム(海上流出油防除)」 をフィリピン共和国へ派遣	海上保安庁警備救難部 環境防災課国際係長 倉田主税	4
		1050	1	4	0	海上防災セーフティサービスの契約事業所 200突破その仕組みと将来展望	(一財)海上災害防止センター 防災部審議役 森吉高	12
		1051	3	9		石油連盟「国際シンポジウム」テクニカルツアー による「東日本災害対応拠点」川崎基地見学	(一財)海上災害防止センター 防災部 京浜地区エリアマネージャー 藤原政文	2
		1052	2	1	4	流出重油・ガスの自動追跡システムの確立と 革新的海洋防災システムへの展開(第2報)	大阪大学大学院工学研究科 教授加藤直三	20
		1053	5	3		北米大陸で続発する原油運搬列車爆発事故 について	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	7
		1054	9			会社紹介	防災特殊曳船(株)	2
		1055	5	2		災日誌 (平成25年12月～平成26年3月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	2

第162号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
162	2014年7月	1056	5	1	1	平成25年の海上保安庁における事故災害 対策の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3
		1057	2	1	4	流出重油・ガスの自動追跡システムの確立と 革新的海洋防災システムへの展開(第2報の2)	大阪大学大学院工学研究科 教授加藤直三	19
		1058	5	3		ヒューストン水路で発生した大規模油濁 (significant spill) 事故	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	4
		1059	5	3		連発する北米原油貨車の脱線爆発	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	7
		1060	2	9		センター体制の変革と新たな事業展開	(一財)海上災害防止センター 防災部審議役 森吉高	12
		1061	9			会社紹介	北洋海運(株)	3
		1062	5	2	0	災日誌 (平成26年4月～平成26年5月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

第163号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
163	2014年10月	1063	5	1	9	平成25年中の石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所において発生した事故の概要	総務省消防庁 特殊災害室	6
		1064	3	4		北太平洋海上保安フォーラム多国間多目的訓練の実施について	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3
		1065	3	4		エアポート、国交省主催「緊急確保航路啓開及び緊急物資輸送訓練」へ参加	(一財)海上災害防止センター 京浜地区エリアマネージャー 藤原政文	4
		1066	2	1	4	海水面における流出油の拡散・移流に関するシュミレーションの紹介	(独)港湾空港技術研究所 油濁研究対策チーム 研究官松崎義孝	14
		1067	5	2	3	ケミカルタンカーM号爆発炎上事故救助及び近年の海難船舶のPlaceofRefugeに関する問題点とその解決について	日本サルヴェージ(株) 常務取締役サルベージ部長 西部好昭	9
		1068	5	3		中国大連で続発するパイプライン爆発事故	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	3
		1069	9			会社紹介	東日本タグボート(株)	3
		1070	5	2		防災日誌 (平成26年5月～平成26年8月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1
1071	9			海上災害防止センター西日本支所 (キソー化学分析センター)について	(一財)海上災害防止センター 西日本支所 副支所長矢野卓	6		

第164号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
164	2015年1月	1072	3	4		大学生や専門学校生を対象とする油汚染水鳥 救護研修の実施	NPO法人野生動物救護 獣医師協会(WRV)事務局 箕輪多津男、曾根友希恵	3
		1073	2	1	2	沈船からの流出油に対する油処理剤の水中 散布実験	(独)海上技術安全研究所 原正一、宮田修 東京大学影本浩	8
		1074	2	2	9	プラスチックによる海洋汚染について	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	11
		1075	1	5	9	「2014年台湾における海上流出油事故対応に 係る国際ワークショップ」への参加について	(一財)海上災害防止センター 防災部業務一課長 清野成直	3
		1076	9			第41回川崎みなと祭りにおける「東日本災害 対応拠点川崎基地」の一般公開について	(一財)海上災害防止センター 京浜地区エリアマネージャー 藤原政文	2
		1077	3	4		米国TEEXで実施される有害物質漏洩事故 対応訓練参加報告	(一財)海上災害防止センター 防災部業務二課坂本憲史 西日本支所李建康	6
		1078	5	2	1	世界で発生した大規模原油流出事故	編集委員会	13
		1079	9			会社紹介	(株)男鹿テクノ	2
		1080	3	4		平成27年度海上防災訓練概要の紹介	(一財)海上災害防止センター 防災訓練所	4
		1081	5	2	0	防災日誌 (平成26年9月～平成26年11月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
165	2015年4月	1082	5	1	1	海洋汚染の現状	海上保安庁警備救難部 環境防災課	8
		1083	1	5	3	第5回海洋汚染事故対応に関する地域間 技術諮問会合(RITAG)への参加	(一財)海上災害防止センター 防災部研修員 福長政人	11
		1084	1	5	2	国際シンポジウム 「大規模工業地帯への自然災害の影響」の報告	大阪大学大学院工学研究科 教授加藤直三	6
		1085	3	4		消防団員として、海上災害防止センターでの 訓練を受けて～1日消防実習コース～	神奈川県川崎市宮前消防団 団員菅田恵美	5
		1086	5	2	9	酸素欠乏の恐さ	(一財)海上災害防止センター 西日本支所センター長 児玉正浩	5
		1087	5	2	1	米国河川(YellowstoneRiver)油濁事故	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	8
		1088	5	2	1	世界各地で発生した油流出等の事故	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	9
		1089	9			会社紹介	宮城マリンサービス(株)	3
		1090	4	1	2	「油剥離剤の販売開始」及び「油剥離剤の使用に 関するガイドラインの公開」について	(一財)海上災害防止センター 調査研究室	3
		1091	5	2	0	防災日誌 (平成26年12月～平成27年2月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

第166号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
166	2015年7月	1092	5	1	1	平成26年の海上保安庁における 事故災害対策の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3
		1093	3	9		「ビーチクリーンアップかながわ2015」 活動に参加して	編集委員会	6
		1094	2	2	5	油剥離剤の開発とその使用方法について	(一財)海上災害防止センター 調査研究室 主任調査研究員 濱田誠一	10
		1095	3	4		「日本の消防を変えよう!!」を合言葉に 海上災害防止センターの訓練プログラムを 消防団の公式訓練に	赤羽消防団第七分団 部長&消防設備士 長浜宜男	8
		1096	3	4		「危険物火災1日コース」の新規開設について	(一財)海上災害防止センター 消防訓練所 係長和佐裕美	2
		1097	5	2	1	連発する北米原油貨車の脱線爆発(その2)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	9
		1098	5	2	1	パイプラインから原油流出 (米カリフォルニア州サンタバーバラ)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	3
		1099	9			会社紹介	(株)リンコーコーポレーション	2
		1100	5	2	0	防災日誌 (平成27年3月～平成27年5月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

第167号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
167	2015年10月	1101	3	2		放置座礁船問題の対応について	海上保安庁警備救難部 環境防災課	6
		1102	1	4	0	機動防除隊発足20周年	第三管区海上保安本部 横浜機動防除基地	15
		1103	3	9		海洋台帳	海上保安庁 海洋情報部海洋情報課 海洋空間情報室	7
		1104	2	2	5	原油蒸気の挙動について	(一財)海上災害防止センター 調査研究室 主任調査研究員濱田誠一	11
		1105	5	2	1	浚渫兼油回収船「海翔丸」島根県沖へ緊急出動	国土交通省 九州地方整備局 関門航路事務所 石橋悟朗	4
		1106	5	2	1	米国史上最大の内陸部原油流出から5年を経て	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	5
		1107	5	2	3	北米ケミカル貨車脱線火災・有毒ガス流出	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	3
		1108	5	2	9	天津(Tianjin)大爆発	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	5
		1109	9			会社紹介	清水埠頭(株)	2
		1110	5	2	0	防災日誌 (平成27年6月～平成27年8月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

第168号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
168	2016年1月	1111	1	5	3	第6階海洋汚染事故対応に関する地域間 技術諮問会合の開催報告	(一財)海上災害防止センター 防災部業務二課係長 垣本英臣	11
		1112	2	1	4	津波による流出油の漂流シミュレーションモデル の紹介	国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 主任研究員松崎義孝	9
		1113	5	3		私の油濁見聞記	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	8
		1114	5	2	1	北米パイプライン事故のその後	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	5
		1115	5	2	1	ロシアサハリンで小型タンカー座礁・重油流出	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	2
		1116	9			会社紹介	福井埠頭(株)	2
		1117	3	4		平成28年度海上防災訓練実施計画概要の紹介	(一財)海上災害防止センター 防災訓練所	6
		1118	5	2	0	防災日誌 (平成27年9月～平成27年12月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

第169号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
169	2016年4月	1119	5	1	1	海洋汚染の現状(平成27年1月～12月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	8
		1120	5	3		私の油濁見聞記その2(タンカー-泰光丸)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	15
		1121	5	2	1	貨物船CITYの座礁・油が川を遡上(酒田市)	編集委員会	3
		1122	5	3		ケミカルタンカー”MARITIMEMAISIE” 火災事故への対応	(一財)海上災害防止センター 西日本支所センター長 児玉正浩	6
		1123	5	2	1	オーストラリア列車脱線転覆硫酸流出事故	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	3
		1124	5	2	1	アマゾン川上流域(ペルー)で続く原油流出事故	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	3
		1125	4	2	2	初めての油剥離剤の海岸漂着油への使用について	(一財)海上災害防止センター 調査研究室長木本弘之	5
		1126	4	1	2	オイルスキミングネットの画期的改良について	相川海運産業(株) 海上防災アドバイザー 坂本由之	7
		1127	9			会社紹介	佐世保マリン・アンド・ ポートサービス(株)	2
1128	5	2	0	防災日誌 (平成28年1月～平成28年3月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1		

第170号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
170	2016年7月	1129	5	1	1	平成27年の海上保安庁における事故災害 対策の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	3
		1130	3	9		「ビーチクリーンアップ神奈川2016」	編集委員会	4
		1131	5	3		私の油濁見聞記その3(タンカー-豊孝丸)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	11
		1132	2	1	2	油処理剤の水中散布による分散化油流の 浮上速度に与える影響	国立研究開発法人 海上技術安全研究所 原正一、宮田修 長崎総合科学大学 影本浩	11
		1133	5	2	1	メキシコ湾における石油掘削施設爆発・沈没 による大規模原油流出事故最終示談について	編集委員会	3
		1134	5	2	1	オレゴン州原油輸送貨車脱線炎上・油流出事故	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	4
		1135	3	4		(一財)海上災害防止センター平成28年度 旅客船コースについて	(一財)海上災害防止センター 防災訓練所	6
		1136	9			会社紹介	(株)共進組	2
		1137	5	2	0	防災日誌 (平成28年1月～平成28年3月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

第171号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
171	2016年10月	1138	7			写真で見る海上災害防止センターの40年	(一財)海上災害防止センター	2
		1139	9			海上災害防止センター年表	(一財)海上災害防止センター	1
		1140	6			海上防災事業者協会と私	(一財)海上災害防止センター 防災訓練所係長和佐裕美	7
		1141	2	1	2	海上流出油対応の高度化に向けての研究開発	国立研究開発法人海上・港湾・航空 技術研究所港湾空港技術研究所 新技術研究開発領域長 油濁対策研究グループ長 藤田勇	7
		1142	2	1	4	流出重油・ガスの自動追跡システムの確立と 革新的海洋防災システムへの展開(第3報)	大阪大学名誉教授 特定非営利活動法人 産業防災研究所 理事長加藤直三	10
		1143	3	2		油吸着材の実験	日本ソリッド(株)飛田義人 油濁コンサルタント 佐々木邦昭	6
		1144	5	3		私の油濁見聞記その4(ペルシャ湾原油流出)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	10
		1145	5	2	1	パイプラインから川に高粘度原油流出 (カナダサスカチュワン州)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	4
		1146	9			会社紹介	沖縄マリンサービス(株)	2
1147	5	2	0	防災日誌 (平成28年7月～平成28年9月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1		

第172号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
172	2017年1月	1148	1	5	3	第7回海洋汚染事故対応に関する地域間技術 諮問会合の参加報告	(一財)海上災害防止センター 防災部業務二課係長 垣本英臣	11
		1149	2	1	2	海上流出油対応の高度化に向けての研究開発 (その2)	国立研究開発法人海上・港湾・航空 技術研究所港湾空港技術研究所 新技術研究開発領域長 油濁対策研究グループ長 藤田勇	7
		1150	2	1	4	流出重油・ガスの自動追跡システムの確立と 革新的海洋防災システムへの展開(第3報の2)	大阪大学名誉教授 特定非営利活動法人 産業防災研究所 理事長加藤直三	7
		1151	5	3		私の油濁見聞記その5(ナホトカ号前編)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	13
		1152	5	2	1	米国史上最大のパイプラインから原油が流出した 事故の最終示談	編集委員会	2
		1153	3	4		平成29年度海上防災訓練概要の紹介	(一財)海上災害防止センター 防災訓練所	5
		1154	9			未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール 受賞作品	海上保安庁	3
		1155	5	2	0	防災日誌 (平成28年9月～平成28年12月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

第173号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
173	2017年4月	1156	5	1	1	海洋汚染の現状(平成28年1月～12月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	8
		1157	1	5	3	2016年アジア太平洋有害危険物(HAZMAT) 事故対応技術会合の参加報告	(一財)海上災害防止センター 防災部業務二課係長 垣本英臣	11
		1158	1	3	1	海防法に基づく「排出油等防除計画」を修正	海上保安庁警備救難部 環境防災課	2
		1159	5	3		私の油濁見聞記その5(ナホトカ号後編)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	16
		1160	5	3		ばら積み貨物船火災事故(貨物:トウモロコシ)	(一財)海上災害防止センター 西日本支所センター長 児玉正浩	8
		1161	5	2	1	ChennaiOilSpill(インド・チェンナイ)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	5
		1162	4	1		多目的作業船「POSEIDON-1(ポセイドン-1)」の ご紹介	深田サルベージ建設(株) 東京支社国際部部长代理 齋藤真一郎	6
		1163	9			会社紹介	鹿島埠頭(株)	2
1164	5	2	0	防災日誌 (平成29年1月～平成29年3月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1		

第174号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
174	2017年7月	1165	5	1	1	平成28年の海上保安庁における 事故災害対策の概要	海上保安庁警備救難部 環境防災課	4
		1166	1	5	3	油及び有害危険物流出事故対応に関する フォーラム	(一財)海上災害防止センター 防災部業務二課課長代理 垣本英臣	9
		1167	3	9		ビーチクリーンアップかながわ2017	編集委員会	3
		1168	2	2	5	砕石によるケロシンの火勢抑制効果	東京電力ホールディングス(株) 東洋エンジニアリング(株) (一財)海上災害防止センター 調査研究室長濱田誠一	17
		1169	5	3		私の油濁見聞記その6(貨物船ホンペン号)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	6
		1170	5	2		防災日誌 (平成29年4月～平成29年6月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

第175号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
175	2017年10月	1171	2	4	9	海域の自然災害－地震、津波、火山噴火	海上保安庁海洋情報部長 仙石新	19
		1172	5	3		私の油濁見聞記その7(貨物船MARINEOSAKA)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	10
		1173	5	2	1	palmoilspill(中国・香港)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	4
		1174	3	4		「STCW条約基本訓練(消火)コース」の 新設について	(一財)海上災害防止センター 防災訓練所	7
		1175	9			会社紹介	博多港管理(株)	2
		1176	4	9		新造防災船「おきしま」竣工	(株)タイトーコーポレーション	1
		1177	5	2		防災日誌 (平成29年7月～平成29年9月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

第176号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
176	2018年1月	1178	1	4	9	台湾TheEmergencyResponseTeamsの陸上 事故対応体制	(一財)海上災害防止センター 業務部業務課課長代理 李建興	11
		1179	1	5	9	「台湾国際ワークショップ」に参加して	(一財)海上災害防止センター 西日本支所センター長 児玉正浩	6
		1180	4	2	2	私の油濁見聞記その8(オイルフェンスの改良・ 実験について)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	6
		1181	5	2	1	福岡貨物船火災沈没事故への対応について	海上保安庁 第三管区海上保安本部 横浜機動防除基地 第一機動防除隊隊長 寄高昭	11
		1182	5	2	1	GreeceOilSpillタンカー沈没(ギリシアエーゲ海)	海上防災コンサルタント 佐々木邦昭	6
		1183	3	4		平成30年度海上防災訓練概要の紹介	(一財)海上災害防止センター 防災訓練所	6
		1184	3	4		九州支所最初期消火訓練コース (九州FBI訓練)開設	(一財)海上災害防止センター 九州支所	4
		1185	9			第18回未来に残そう青い海・海上保安庁図画 コンクール受賞作品	海上保安庁警備救難部 環境防災課	2
		1186	9			会社紹介	浜田港運(株)	2
		1187	5	2	0	防災日誌 (平成28年9月～平成28年12月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1

第177号

号数	発行年月 (西暦年 月)	記事 番号	分 類			標 題	執 筆 者	頁数
			A	B	C			
177	2018年4月	1188	5	1	1	海洋汚染の現状(平成29年1月～12月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	19
		1189	3	2		流出油防除の現状と戦術の選択 ～機関誌「海上防災」の最終号に寄せて～	(一財)海上災害防止センター 業務部長萩原貴浩	15
		1190	5	2	0	防災日誌(平成30年1月～平成30年3月)	海上保安庁警備救難部 環境防災課	1
		1191	9			海上防災事業者協会40年の歩み	海上防災事業者協会	21